ホ 2
465

門 和カ1ノ
號 465
卷

明治三十九年一月二十九日
水谷弓彦氏寄贈

万葉假名遣序

才齊澣よりあつまれるこゝろ。今乃事ゝ
ものゝ仲錦よりなつかしきこゝろ。古のよろ
事ゝ。あるは月梅雪を手ん梓にうつしのこる
ものゝあわ。埜八洲香山氏百敷根よ仰く。ふ
筑波山乃何首烏よ彩せわ。陵丹よ彩 牧
ま麦よ十寿。孫よ文行 柿を更ひんとする
の意ゝなのみち。人ありけ名我とふ。

又何〳〵いつすをもつぶむり〳〵は草そん草
さんかとるや絵そよ一葉乃ふ屈り風あり。
今この延夢ぞ〳〵よ万葉の花ゝる緑の
ゝ家ゝ乃ゝだけて万葉かるかるづゝい〳〵伸しむ
ゝそ〳〵れおゝ〳〵あわ世。容れゝ〳〵ぞれぐ
こゝゝべゝ翁もゝぞよ園葺のいゝ〳〵ゝにを
ひゝいそゝゝ。

御溝水頭自梅園

蹉蛇水謾書

萬葉假名遺

同緑

溫觴

八分字 并 隸書楷書といふ

真行草の并

平假名といふ

正字いろは 并 古文字 真行草

七いろは波の濫

大篆小篆の記

同いろは字の沿

同井決
片假名の字義
ンメ中氏すの沒
中下ひきいのふ
同井下のぬ
をの假名ちひ
おろふ遣
ほのかなつひ

假名の字体
同イロハ二四字
いの假名遣 三体
ぬろふつひ
ひれ假名遣
同中下のと
同井下ろお
ひのうふ遣

同井下れひ
同中下のゑ
わのうなつひ
ゐれ假名遣
むのうふひ
うとねの遣
むとをの遣
ふとをろ遣

ゑれうふはつひ
への假名遣
はのうれつゑ
ふろうふつひ
うとむの別
むとぬの遣
むとふろ遣
へとめの遣

めこゆるへの字　ひこ海ふ姫の字
みよまふひ　をトゆる姫
みゅうとしふ郎　みゅむとしふ郎
志の姫名遣　ぢ乃姫名つゑひ
どのうふたうひ　づ乃ゑすつゑひ
いゅゅゅの姫名　ろゅゅらゅの姫名
はゅほゅゅの姫名　へゅひゅゅの姫名
ふゅたゅゅの姫名　とゅゅゅゅの姫名

ゆゅこゅの姫名　ゆゅゅゅの姫名
ゆゅゅゅの姫名　ゆゅさゅの姫名
ゆゅみゅの姫名　てゅてゅふの姫名
ゆゅちゅの姫名　ゆゅゅの姫名
ゆゅちゅの姫名　ゆゅゅの姫名いろはふ

一　いろは六十七字

姫名遣詞数惣計五千八百三十一ゑ

同引用書籍

新古今假名遣
親房抄出
紀氏抄
萬葉集
同指南抄
神代記
中臣祓

紀氏假名遣
基俊仮用抄
了俊云茎集
同彰撰
日本記
同合解
源氏物語

同日葉
湖月抄
古今集
指遣愚案
茎葉
彰撰六帖
八雲御抄
花月物語

俄江入楚
續源語
狭衣
金葉集
拾遺
千載撰式
実房伊勢物語
萬葉集

續日本紀
延喜式
新猿樂記
有職神事抄
紫家抄
玉函抄
三寶抄
鬱抄

凡古記
鶴丸故事記
大續
有職問答
和歌吳竹集
名目抄
河海抄
吹和名集

三代實錄
法補令義解
下學集
千金方
文選
史記評林
孟子
論語
詩經

藻塩草
菱家文章
古語拾遺
本朝綱目
白氏文集
春秋左氏傳

莊子
釋文
同機括法
玄抄玄摘
法華通釋
書苑
[illegible]
[illegible]
爾雅
事文類聚
書史會要
法書要錄
六書正偽
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

字彙
古今韻会
說文
博物志
和玉篇
[illegible]
古文苑後集
稱名[illegible]
五車韻瑞
白氏小說
多識編
合記系
同姓碧巖集
[illegible]
楚辭全文
[illegible]

那須狐
紀巴狐
細川関守
中院狐
宗碩狐
宗牧狐
耳底記
昌叱狐
流水
家隆狐 立圓
真海狐

右乃引手ハ悪勇紀河の下にいたりて
一字つゝ手ゆゝ行り且ハ紀州紀名を

紀の糸ゆゝりゝ見の河ハ紀ゆゝありと和ん
乃人ゝ見ゆゝとゝしんとゝ牧紫
一云ゝ白樫ゝゝ書ハゝゝ
多ゝ稜とゝのみかゝくハゝ
ゝゝの樫角ゝ
なにゝ行ゝ見ゝ人ゝゝ

假名遣と見る法

一世ふ假名ばかりの板行なしといふこと猶も世に疑ひとなる書おほく〻釈しりて雇書れ時とふ〻遇よ紀せりものみのの〻たのえとなる假名やいろは地ん遊鶴沢いと頗多くあかめ〻今此書いろと巻頭ふ〻ほとなる拾く〻法大師いろはのうちに及ぶ且い古今字類の変化や假名

則ち其名〻〻則假名ふ〻〻廣手年授の感とと〻〻む

一いろは四十七音の内に〻へノ字つ〻字を正〻〻〻〻歌と〻〻〻〻偽文まちく〻〻〻〻字類を家ふ〻〻〻〻

殊ふ字法とまくして假名と字法と大
ゝ異ゝ今はいろは四字に古法を
ゝ七ゝ呂波の張と四に
一此外に通例の假名ゝ若干を
のゝ假名ゝ
一片假名といふあり并ひらがなの
字の義の別ゝ
寸法ゝ今は書ゝの字の義を敘ス

一いゐひとれはなるゝ假名つゝ分辨を
なふまゝひ和加ゝ不假名の字体
をゝ傍ふ沒と
一うトむ別あり 饘ウナキ ムナキ うトぬ遠あり
爲ヌハタニ ワハタニ 等ハ紙七ワ又ゐめトをる
へゝ字 並ナヘミト点メ ナメミト 侯 むゝ ゝ梅 蓁ハウフル点 ハウムル 侯
等の紙六ワ合ゝ十二ケ条をゝ
ゝみくゝの假ゝ

一ものの字の濁る時は五音混雑して
假名と成る物なり今こゝにあらはし
ふふ各〻各〻とはいゆゑの訓合ひ時はいゆゑの
いとゆと称とふとの訓合ひ
とうちまと今毛り別〻十三いろはふ
なるべし故に
一諸書の仮書并古今の仮名と
なりうち二千七百五十三とし金澤之

高安仮名遣

一高安の舊本千二百八十三今按假名遣
初教に千八百五十一三とあり古俳の第〻紫史百家の
三十一三なり古俳の第〻紫史百家の
旨と世〻ちん出人哲乃安明と
なるせ侍りふとよあ〻初の歌〻
三としつふいあ〻仮案い準て知一

万葉集名選

温鶴

一ひとつ黄帝乃臣に。迴涌皇頡一名蒼頡とも云わ
いろ〳〵人〳〵を其跡〳〵〳〵を考て文字を制
結縄の信ふうしよりも大古文字なり縄をむすび
約束せしなり
持典〳〵〳〵古文の法使る。その内に
ひろい〳〵。周乃宣王に大史籀わ
人大学者と作り。言葉家稿ふ籀文といひ
いろ〳〵籀文は周の大史作る

而かり古文大篆とまちまちに見えたり活人名さいく稽
られを篇に文とはとまた又史籀は周の史官かしく稽
ゆえ字に字を数るに孔氏の移古文と称せ
とはと野鄙定の古字の二かいつる高宮かえ
それ石古文ありしく今に陸宮重斯う
小篆えそくそんとそりかり史籀い籀文の紀し
かりあり志うしい別大篆とらふうすこれよりさに
に記るりかいり又法書要系かえ周の史籀
い宮主の海史官より書とかえ蒼頡ら古文
を師とし検もええしく云西跡湮滅してそえ
かれりしかふ伝る而い終ふ繁繁するのを
この流ふ古人の是非を論捨しこれと称ゆんと
ととこされたこち字撰ありうひい同しく或そ
日ちり人ちと呼しく篆とし史字とに作ふ篆
又の指字とにとえて今は伝り古文に初るしらう。

十一

小篆 秦の李斯大篆ふ始かり始しく省改しく小
篆と作る是法字要い 八分 秦の羽人と谷乃主張仲ら作る不
宮和法備ふえ乗法と谷のを
法字要ふ八分と云ひ小篆の二ちと云
隷書 法史云要ふ八分法とあり行下に秀
て法陽の獄よりみ要ふ程邈宮ふ元学罪を治
年篆を変して隷とに二千宮のを治りとれな
かりしく宮えの篆をゆりて法史とにとのり
楷書 書苑の説ゆうい隷ちもまち法紀書
かしく楷の名かしゆせり法書要紀の名
ふちとうのふい隷と楷とのふ
あるに作りて作遠しく法ハ
の俗楷法と呼ふ三川の名とい。

十二

一ふいくまい　まい人の衣冠と云人の衣冠と云人の衣冠と云

云と俗く称して元と名る孔子を制又いく〻
狄沢といひ西夷の字といひ西戎
と狄鞮といひ南蠻の字といひ西戎
俗これを通士といふ国史の旨意を測乃
蠻とも云に多く紀の紀の紀
云と云くすると云く
階梯とふる。神武乃西代より
十六代。應神天皇乃代に始て文字
の渡りといへども。彼蒙頭の古文。
史籍の大篆の部〻。法鵠蝌
らの神代の文字〻と。孫〻

俗へて教授に聞つよ。第七代孝靈天
皇十三年よ。天竺の文字〻もて
入るるとなるといへども。是又附いま
熟や〻〻。其不測靈聊とも〻〻。
且後世の所〻とも〻〻〻〻。
をもて〻〻〻。文字を渡す〻〻〻〻。
紙筆とつくりとも〻〻〻〻。
帝王代〻の倉庫の。毒魚の食と

やまとんばらのみくに。そもそも漢籍渡来して
字十八年に。百濟國乃王仁。古史記
佐と携へ吾ク朝に貢ぎ〳〵。ゑろ
く漢語文字ホのヨとロ授セむ
志ク朝ともて。爽狄の云語ゆゑ
牧神系乃説を記さんとあるに
そして。暗誦ともる人ゝを拾やし
に。第九七代継躰天皇乃治天まゝ

を。絶て和漢通貢して漢家の史籍
学授ム法く。日夷域西奥乃道ゆ洞
激ともるるを。天児原命十九世
孫。芋ア稚大連ヤ人最和漢の
才に富。楷書かんに長く万葉ゆ今
よ好ゝんるを考。姫ゝ中臣の諱
諱ゝにいとのことゆのと神祇
の文字三百二十余字。ほ十七韻と

[illegible]。[illegible]の声と似り像に
誌し。[illegible]名俗名乃號[illegible]
俗字は声のみ俗呉音を清濁[illegible]
[illegible]訓[illegible]和語[illegible]の別
俗字の声をあつらへ俗字一字[illegible]
[illegible]字乃[illegible]
[illegible]と古田家の清流[illegible]和語の俗乃
又云和語[illegible]俗字は声と俗といふに
[illegible]新字の[illegible]
[illegible]家の[illegible]
[illegible]家の[illegible]列の人物[illegible]
歴代の国史[illegible]
[illegible]俗

彼連の祖代乃文字[illegible]七句に拠[illegible]俗[illegible]の制
[illegible]の[illegible]字
[illegible]字の[illegible]
[illegible]
[illegible]

ありて。さて別縣小濱の功なり
つゝに。貞享十巳酉年に元正帝はじめ給ふ。是
老巳年か。一ぶ舎人親王勅をうけ給ふ。
月令記を撰ばせ給ふよりこゝ。金紫と
高名服名よつゝ称ゝ。先哲の大功
たゝけまいらゝ。羅山いよゝ講
ゝ。清水の文義を解ゝ
ゝ偏か高名服名ゝ。ぶ教道

偏の字ゝ。ゝる事。彼顔ゝ篆文乃刻
字に移り。大ゝ孔丘の洞色とゝり
と収るふゝ。拾い篆文と編綴せられ
ゝる。是ゝ正しゝ子学ゝ易の面
ゝり。
流ゝるか有ふ。徳川治世ゝ
世に浮去に入る。ゝし羅太經ゝ藤林
玉亭ふゝ。ぶ教の偏安ゝ人ゝ偏との
せゝ。硯と松蘿利。筆と分直と

ず。又唐の張九成が書史に云ふ。
山と夜漫と共に月と旅著と共に
然の假名とす。ちなみに。漢ふ神の徳を
乃化ふ。もんく。拘句を未代に改
るを依らん。保ら[illegible]れるのこと。
犯いまる蹟料韮[illegible]ふ[illegible]の号ぷ
[illegible]の風あり。字に秋と四書に拂と
いまること洲と西字西字に二義あり西字
[illegible]と云別西字くさと西字

とらつかの[illegible]月あり別西字のとい西字のとき
[illegible]と云[illegible]と云[illegible]とさいと
假字又二義あり又假字なり川洲月
名是也と定假字やし乳る拂と
ず假字とに義洲二義あり[illegible]
第[illegible]と洲一二義とり[illegible]
かいつくひと定義とし[illegible]
月とこの月とつくひまを[illegible]
と[illegible]の仮あり假名のつくひまを[illegible]
仮[illegible]れ[illegible]ひ[illegible]
いつ又法十拂を[illegible]
こと[illegible]と下つくラ[illegible]
冥[illegible]冥[illegible]園梨と号[illegible]
[illegible]の[illegible]乃[illegible]

ありて。吾ら名の假名やいろはの。法字
九聲とありて。躰と浮字に偽い。法
小神列の遷迷唱者ふ仏れも
と皇詔の今詰より。下民乃かん
日月とゝけ。仏も一吉みゝ
多衆沖ゝみゝさゝいこの手にいつかこれコレ
ア、レ水の孤浮
多変万化の功業とゝ和このに
いりくい徐よこ十一字の内りこ

眼ん弱と震ちどく動冥に動して
そ。天地影祈とゝも感せむ。の徒。
吾ゝ者ゝ惣持呪の。ゝ恒河九仏
かさ小家表も。大千界乃魔
障と拉ち。皆悪摧滅乃猪利ある
に弊帰ゝりとし。始て大日孫尊
剛頂徒多九。字の梅不字母不に事
て。いろはの四十七字に若ゝ。

と悲哭の聲多く聽文あるにあらず。
表ハ如乳乃長歌より部〻。円小ハ
云者迅雷丸んと〻称。後生編つ
ん小子等ふかく〻むとの結ひ
と。稽化の要仰他より部正〻。玉佛
一枝乃法味あるに情〻。依足道円
紀成水丸。能書小名ある家より写に
付。筆の仲とん〻書とてり〻ふ。

そ〻仲潛流の深淵小踏り有るひと〻
風發乃茶涙に者〻〻に。優〻夢
絶妙ちと未し〻て。ろと好む乃者
今云子。とのく〻 洛円況換〻〻
て。換〻より候名乃一術とれ〻〻卒候
名かん号あり。ろよの子とハ四書の三北祢
九ろのコクちるこ不思ふの三ハ乃ふの子ハ毎
ハ〻ち〻〻〻

[illegible]
といふ平陸の名ゆゑ[illegible]平候
名といふ[illegible]
[illegible]
[illegible]
人[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
の書籍典謨と治宋の仏宋の文庫と天[illegible]
信用[illegible]天子の文庫[illegible]
爵[illegible]この庫ふ[illegible]

人の校ふ[illegible]。[illegible]文士高客[illegible]
[illegible]
媚[illegible]。[illegible]
[illegible]。小冊の民乃に[illegible]
[illegible]。[illegible]
[illegible]。[illegible]
家集。指迷[illegible]。[illegible]
門前[illegible]。[illegible]

ゝゝゝ。とかにゑへいかひ数の文字の書かたいする誤あるにたりて。その字の札又ゝゝかゝるもこゝろ。序とゝゝゝ。後学のあふ定め至るへきせ。考つよゝ不よ。都もゝゝ目ゝゝゝ

和定家卿の筆跡。七十余年を経て
撰出し。玉葉集なるの足跡
ありぬ。行路乃涙動を涙とするの
と。志ろのみかゝに。俤名つゝひのの涙
ゆゝしくさる事又なし。義経基経
を俤名にとゝかみ
ふりゝ。書とかゝさ
れありし。仮用抄一巻。宇川了後を
彼九郎抄にちゝに沢と言葉集な

孫し他写これ紙を偽写乃不持ゆゑ
掉ん翻刻とありゝ。大同小異の歌
りゝ疑とゝし。且ハ文字つゝひ乃
捷径もかゝれ。浅ハ涙ゝのあゝゝ
と生せしゝのみゝ。ちゝ耕ゝ
かしゝ所去御方ハ乞ゝ。いゝか
見とゝ作ゝに。世なの沢ハ愛ゝ。
愛用とゝゝ不かゝ。始

此の三ヶ所のみ〻と濁さずして彼方のか
く書たり云

高野変体仮名遣

私云後小松帝の寛永三年二月十七日ヨリテ
寛永三年

私云変体仮名遣とは四教義の変体仮名
先皇の作る所の字なり

水は清くして耕を
かなと考へべし。濁り点を使わず。其他
数百云

濁点は濁るの略乃ち濁るいろは歌
略して濁点と使ふ形なり

いろはの三字
耕字にいく濁字に濁字を
て。同一文字を書にもうしんも
かゝ様いろはの文字
一つふ形。濁字の字と
和語のんとあり。
たものく。さまい古

ちゝ邑のゝ沢かゝ。或ハ別の字と同
音に用ひる有り。とハ邑ゝと邑なり
又去邑ゝ。ゝハ越ゝ入邑ゝ。いハゝと聲。
伊ハ平聲。あるいハ訓と音に係る
あり。已ハ止訓と同ゝ江ハ江訓コウ。丹ハ
丹訓タン。ゝハ見訓ケン。えハ兄訓ケイ音
けゝ訓ゝ。ゝに限ゝ。了簡と又ゝも
ゝ訓ゝ。ゝ下畧物ゝいろはの字
七字の内。みゝ訓乃字なり。いゝ
ゝ。ゝ是ゝと訓ゝ

晉王羲之の字及び和歌ハ
法大師の字歳甲製家同和歌以と
ゝいゝの字の章帝にゝ
ゝ史游ゝとゝ隷書と解ゝ
廉ゝ隷の規矩法度ゝ字の便宜と
なる事創乃義なる故ゝ
ゝ

以まゝ 呂隷 乙 略古文字
己 せいろはとゝのゝ字
の書いゝとゝ

と出よういの古字なり

ろ 呂 呂 古文

は 波 波 波 古文 七つ呂波にあり

ゝるい部なり

と和名抄

に 仁 仁 仁 古文 二日

百家説文に百水出桃都言山海経人参の苗字

なるべし人名字に脩を備と脩と脩と

と和名抄に脩名の字を紳と脩して苗の字

と和名抄に脩名の字を東と脩し家敷と

ほ 保 保 保 古文 保 日

へ 部 部の部名つゝひゆハノ部ちりぬるを人という字

と伊又見知に一文字を書てるあり

の字は異とも今古の人いろくの説あるとひい反

らに へいつれも部字也 耕 耕字ありいろ

は四十七字の内也 耕 耕字なく先人もあるく

わかれ待るい文かろくしくまるるうゝ

和名抄

と 止 止 止 古文 土 七つ呂波ハ土とうこと

の字なり

ち 知 知 知 日 知 古文 日 日 七つ呂

和名抄に知名字

ありまりかり

り利利 利 古文 ぬ奴奴 奴 古文 る留留 留 古文 字にあらず累の字なり累累本字繁なり刎はなくなり

を遠遠 遠 古文 わ和和 和 古文 か加加 加 古文 よ與與 與 古文

いろはかめはあるい非なり

いろはかめはあるい非なり

いろはかめはあるい非なり

た太太 太 古文 れ禮禮 禮 古文 そ曾曾 曾 古文

いろはかめはあるい非なり

いろはかめはあるい非なり

つ一 一 一

なる奈去 古文 七いろはの奈ひらがなの字 ひらがなの字 ならる良去 古文 良日 良非

むる武去 古文 武非 武非

うる于去 古文 于日 于非

ねる爲去 古文 爲日

のる乃去 古文 乃日

わる於去 古文 於日

くる久去 古文 久日 久非

やる也去 古文 也日 也非

まる末去 古文 末非

ける計去 古文 計日 計非

ふる不去 古文 不日 不非

こる己去 古文 己日 己非

いる江去 古文 江日 江非 江日 穿耕也 なまり

ふるえる夜の字の字といり番の五義とり
字字に衣を衣とし衣と
者といり文例よりて
ほの字ともいり字非之

て　てゝ　てゝ　てゝ　天　天　古文　丕　せいろはよあけ　てゝ　大　非ゝ

あ　あ　あ　安　安　宀　古文

さ　さ　さ　左　左　左　古文

き　き　き　幾　幾　幾　古文

ゆ　ゆ　ゆ　由　由　由　古文　油　せいろはよあけ　けたい油の字

め　め　め　女　女　女　古文　男伝よ妹の字といひ又云名の字

ゝ妙の字はみゝ名の字ゝ王武ゝ名ゝ名ゝ名

[illegible]
[illegible]
[illegible]

片假名のハ行波

一片ハ半と判なり又いくゝ木は字の半と
いなり木の字を中に从ひて根本かん
性ありといつるハ徐鍇ら木の字を釈して
説の河なり説文に木を屮に書と見
を半ゝくゝとと今片の字を中に多く
則今の片の字なくゝ絶と木の初生
にあとへ一枝一葉ふたくゝ枝中に

技蹠蔸蓼の功いまくさたるに
多とふ字乃命をくゝ書に宦官の名形声
迫て近へし半家この義に假くゝ字式
指半に伯神と半本は片半て
字ハ字刻の義なりといつる書法にも
出るとは必へ号して片假名といつも
俗なりれとそササと菩薩ヒヒ
と緑色とムムを華厳とする乃

多くのいくくとの裏とをもつさまを
彼片木片くく其洲洲をるに
字の端部部をする宛も書のものと
見るにそくくんものの仮へく字
第キとを

イハ伊ノ畧　ロハ呂ノ畧
ハハ八ノ全　ニハ二ノ全
ホハ保ノ畧　ヘハ反ノ畧 彼名のへと字称す反を

トハ止ノ畧　チハ千ノ訓
リハ利ノ畧　ヌハ奴ノ畧
ルハ流ノ畧　ヲハ乎ノ畧
ワハ和ノ畧　カハ加ノ畧
ヨハ與ノ畧ヨノ古文寿ノ畧　タハ多ノ畧
レハ礼ノ畧　ソハ曽ノ畧
ツハ子ハ子ノ訓
ナハ奈ノ畧　ラハ良ノ畧

ムハ牟ノ畧　ウハ宇ノ畧
井ハ井ノ全　ノハ乃ノ畧
オハ於ノ畧　クハ久ノ畧
ヤハ也ノ畧　マハ末ノ畧
ケハ介畧　フハ不ノ畧
コハ已ノ畧　エハ江ノ畧
テハ天ノ畧　アハ安ノ畧
サハ艸ノ畧　キハ幾ノ畧

ユハ由ノ畧　メハ女ノ畧
ミハ三ノ全　シハ之ノ畧
エハ　ヒハ比ノ畧
モハ毛ノ畧　セハ世ノ畧
スハ須ノ畧

ひかの洲点と名付たるに字ふ所ゝ仮名ふあるゝ多くハメすゝハ片ヒンの類なり　メハ而ノ字のくとして付たる

なり元とこれをかへて云へる代器にして テ
の字ハ此字ハ此字を用ひてるく 寸ハ時の器
なり 牛と牛ハトとキとを合成の字
なりとも彼無畏家の畧略の字法
ふかし 畧略の字といふ事ハ字を示すの家とも
やうなくい梵字ハ別の字と二字
三字ハ字を続合やうく辛ぬるく彼梵文の字
世の俗ハ字ハ字と字のキシヤとふ
一字ハ音なれい元キ又ハ迦と又ハ合せ二合と云ふ
て梵に一字なりとも云ふるなりなれて大原いろはの
あくにさるのこ字をいくとあくく京の一字ハ音とせる
れるも金の二字ハ字とあくく一音とせるの

例とも云ハれるを 牧大納言成つかん
ハ元又の牧をとくく 秘云ハ二字合成と
書ハ字ハ也二字合成ハ偏倚といひ又上下
といふく 点畳ハ点の例もあれハトとキと
とあハ
合せ牛に牛とかるもくて牛と牛るハ
点畳ハ点るく 正の字又ハ正
トとモと二字合成ハ牟の畧かん
般若ムといふ声ハ牛とモとンと牛るハ
業とうに鬼ハとハ原なりと例ハく

ヲンとよみてそとヲニといふあるひあり
或ハくムとこのもの[モチ]に用ひく
[ナラ]
[ヲ]ハヌルの[ヲリ]とよみてり

三行假名つゝ

一つふい假名[カンナ]どもゝ[ヒ]るゝ二つよい假名[カンナ]
の字体[タイ]とそひるゝこいつよい[ソレ]集の訓[クン]ハ
[ソレ]集[ソレ]字[チ]といつすを[アラス]とそこれまゝ
三行[カウ]ふつうひといふの名[メウキ]あり

い

いゝ[加]　いと[かと]

いゝ[世]　不士湖

いゝ比ゝ[ヒ]カ三　単

いゝ比ゝ[ヒ]生[幾]　舞

いゝ比ゝ[ヒ]良　

いゝ比ゝ[ヒ]保　書[ギヤウエフ]業

いゝ比ゝ[ヒ]ほ　揮保

いゝ[毛]知　鰻

いゝ[奈]三　

いゝ　不源

不十鈴川

いゝ[毛]　妹

いゝ比ゝ[ヒ]呂　邑代

いゝ比ゝ[ヒ]乃　入農

いゝ比ゝ[ヒ]の　

いゝ比ゝ[ヒ]止与　体毎

いゝ比ゝ[ヒ]よ　

いゝ比ゝ[ヒ]　鈴械

いゝ[平]ゝ　

いゝ[波]ゝ[幾]　鯔

いゝ　

いゝ　

いふ右ゑ
いふ右ゑ
いふ右ゑ

不知 左利
漁 左利
詐 左可不
血流 日
諫 左武
缺脣 和 久知
生四溺 久太末
憤 日 久武

吉来 日
豪傑 日
俳徊 左乞之
潦水 日 左与不
制 日 禁 万 左良三
沼田 左武
勇猛 和 久太
軍 久乳

久左乃不祢
くさのふ 藤 藤和 也
灼 日 也之
やちこ 也知己
賊 末
乃 末之
坐 末刀
牲 末
辭 末之
困 和

彰浮 日 末之
海 末須
池 計 計冊
虜 計止利
稻春蟹 南 南久良
なつきかに 奈出
南久良
なつきかに 奈出

奈己未呂
なこそまろ　帳幅　和
奈三乃
なこその　京菊　日
方
へ　寝答
良己
つこ　帝子　日
京々久尤
くゝ　羊桃　和
世
む　忌
武己止
むこと　戒　日
乃留
のる　形

南尤
ふさ　引佐　和
京
ら　苛　和
京可
ろ　覧　和
京南之
ふ　亡慈　日
京之
ゑ　餓　日
乃糸
のち　京
久
く　命
生

久
く　戈
久八止己呂
くいどころ　射場　和
アムツチ
可世之
そのは　冢
留
づる　出
つ　行海
留
つる　弋　和
久
つく　紡麦　方
弥
ね　稲

久去
く　育波　和
曽
そ　磯
可久
かく　急
可
が　威稜　日
孔
へ　叢竜　日
系
ゑ　浄　日
南
ゑ　泉
不
ふ　否

南去 周幔
南去 稲妻
カ々久 項
カ良 徒
カ讲 痛
カ也可比 文恰
カ比 本道子 日 和
可 島賊

奈利 稲荷
カ函 玉
カ々孝 嶽
ア孝 平欽笠 和
カ久 抱
カ也久々 流矢 日
孔寸三 蹤 日
可冊 蛇

可里 硯 和
可カ 猪
可知 雷
可孝 瑞籬 万 和
可比 貼見
与也可 蠶
波留 芳
カ 羆 和

可函加 石 万
可カ 鹿 和 猴鳩
可武 茂
可え 嘴
カ 巖 日
与 泉
カ 板
カ止利 虎杖 和 本
和比 楪 日 古 万 和

ちはや　カ知波ヤ之可三久ミ
ちち　知志呂之
こ　利己
蠶　和
繼　奴利
ぬ　奴サ利
ぬめり　奴カ天
ぬで　奴可
る　る
を　を
王之
蔓椒　和
いちひと　和比止
京郭呪　和
いちひと　利毛乃
もの　
膳　和
犬狗　和ヒ止又ヒ
入鱉　
鯊　和
忽弦　
魚　和
江豚　和
漁子　和
鰯　和
伊加賀

可
の　止
と　止々
天十日
絲　
糸　万
止奈之加函
かる　
表弔恵聽　日
挑　止
ふ　武
ふ　止不
肤　
ふ　止起南之
ふ　知波也之
幼　
ちはや　
羹　日
へつい　毛
登
わく　
止奈武
いとも　
甚古痛
笑　
止末
いとま　
止己
いとこ　
知
ち　
父兄牙
京
和
いちぐら　久比
廊　和

慶孟子　知己　ちこ　去由　ゆる
不謂　保利　ほり
居産　保寸南　ほすか
魚鉉　波止　はと
鰰　呂久　ろくい
雲脂　呂己　ろこ
巖　万　去本　くか

嘶　和　去由　くゆ
古方　万　冊之　ふへ
樓船　和　浦武之里　ふむつ
家　万　和
雑　止毛　ぞも
嘴息　日　呂計　ろけ
岩　波　はけ
羊蹄　和　八戸之　はへ

石淵　万　去南　つか
絡石　日　去南須　くかい
蔕　令楼　去久春利　くすり
安蔕　日　去也　くや
石藤　和　去本　くか
樂梨　和　去乃加八　くのかは
壹柏　和　去久春利　くすり
石蕚　和　去也　くや
窟　去此也　くむや
況刺　去此　くむ
亟亟乳　波計南之　はけの
兄　日　呂年　ろと
母　呂止　ろと
弟　日　呂波　ろは
射　日　去不　くふ
猪　去計　くけ
警蹄　日　去南須　くかい
祝　去乃加八　くのかは
弟　日　去也　くや
射　日　呂止　ろと
猪　呂波　ろは

い　亥

中下のい

左久左 さいくさ
東奴カ 行ぬいく
志計止 志けいと
春カ 春ハる
己之呂 こいしろ
安ハ 安いち

春奈毛乃末宇之 はるのもうし
三枝ハ きいのくさ
岐カ乃久介 志利可ム
祐ハ キヲタ
緒

次田
漕代ハ
安ハ 安ハ可

い　呂

紀伊国
鞦ハ
透垣
展物カ
怪哉ハ
粘鹿ハ

安カ 安いく
左ム 安いさ
左ム 止利 さいとり
左ム 己呂 さいつころ
於ム 多乃毛利 おいたのもり
久ム 奥石社
くい
也ム 去 やいで
也ム 久ス やいくし

安カ 安いく
左ム 左 さい
左ム ハ 頭子
乃 屋ハ
左ム ハ 柿樫ハ
於ム 可計 おいけ
於ム 天 おいく
久末乃ム 久ものい
也ム 去久左 やいくさ
也末 毛 やまつい
山梅

鶏田日
秋田カ
弾丸
近笹
奥石社
悔日カ
双
俗ハ 俗ハ串 とそ飛

久ス
也ム
山芋

組　吹草　鞠　冷　啄　朔　樂語　鄉土　費　踏　次席　枝鍵　老

西對　虞草　黄草　撥鉢　撥鉢　撥鉢

はいと（波ハ止）
はいま（波ハ末）

ね

ねちこまめ（ね居知己末世）
ねなか（ね居奈加）
ねのうら（ね居乃止ノ末）
ねのこ（ね居乃己）
ねらい（ね居久比）

集人（ね居人）
くいさう（ね居刀可）
鶏
彈（日万八ニ三尼）
弦
蛇（ね居）
田舍（ね居万）
赤駒（ね居）
孔（ね居）
堰杭（日）
ねる（ね居安）
將（ね居ル）
年（ね居）
井堂（日）
艤（ね居）
完（エン）
ねのくたち（ね居乃久陳ち）
牛膝（ね居）
ねすあし（ね居安ス）
織機（ね居）
ねさう（ね居尤利）
未底（ね居）

ねざめ（ね居尤流）
ねをを（ね居世支）

中下のね

いぬね（い奴ね居）
乾
いのね（ね居乃）
ねうり（ね居尤利）
ねこ（ね居）
ねこ（ね居）
ねこ（ね居

于奈為 うなね　蛤蟹 万 和　於保為 おほね　菅 万 和　久王為 くゝね　鳥芋 和

於保為 おほねつくさ 可尤　大欲察 久れ章為 くれかね　和 和　久ゝ為 くゝね　佐

久毛為 くもね　雲井 天ゝ　彩万 末止為 まとね　囚屋

まね為 万　糸入 万 末為 天　まねゝ　治

こね為 末奈已為 まなこね　本居 末奈已為 まなこね　眼皮 拾

安為 あづさね　宗陽記 和 安為 あねね　蓋

さね為 古ゝ為 ね 末 さねゝつま　依為 古ゝ為 ね 末 さねゝつま　袁州 袁

志保尤為 志ほさね　毛止為 もとね　澈依為 万 志 袁　志ほさね　毛知為 もちね　炭屋 モチウ　用

ひ　他は新ホハヒノ字中下にあり〳〵ハ下のあ言に

まうあと又あつめ〳〵ま〻ゆ〻〻依と〻中にをハヒフヘホに通

なくとまよみ〳〵はを　ぬ

いい 和 比　ちひ　櫟 故 万 和　りあひ 利 安 比

いい 奴 可 比 本之　ぬくひ　牽牛 和　いぬのたまひ 奴 乃 太 末 比

いい 比 太 比　たひ　木蓮子 万 和　ひ 比

いい 比 保　ひぼ　敍 日 三 延　入れ

いい 比 保　ひぼ　粒　犬宮 和　械

いい 比 保　ひぼ　朧月 イヲヌ 和

揖保　体毋 和　白拂 和 幟一　羽易 万　羽咋 和　灰 和　彰賞　四水 催　耳遂 和

蓼 和　敢 和　蔓荊 和　杜仲　将水 万 和

彰

小　姝 和　禪 和　嫡 和　小縣 和　元索兒 和　綱 和　攻玄 和　參元　韓 和

櫂欤 万　絢　餐績 和　櫂子 和　絢筍

加良兄比 カレイ 玉簾魚 和 加計呂比 かけろひ 結火 故
加之比 かしひ 香椎 日 万 粉米 奴 香襲 三 いれも日
加比 かひ 貝 万 和 殼 カラ 和 い比可比 いひご
可比 函天乃炭 るてのき 紐乃掬 和 可比南 ふ
加比己 かこ 籠 加比己 卵
加世比 かせ 桙 延 加書可比 狩 猟
与呂可比 よろひ 丁 売 与呂比 よろひ 鯉 日 一具 円
与呂比久尤 よろくき 白芷 和 与考比 よろ 鈴

与波比 よばひ 結婚 万 日 与八比保之 よばほし 流星 和
与比 よひ 宵 日 太止比 たとひ 倭令 多可比 あがひ
太和比 たわひ 冊比 和 堂乃己比 めごひ 互
太良比 たらひ 興 慶 万 太末比 たまひ 唾吐 日 ヘド 手仲 和
太末之比 たまずひ 魂 万 太比良 たひら 平
太比 たひ 納 和 綱 万 乃己比 ねこひ 庭 万
乃可比 ねかひ 首 万 乃己比 ねこひ 袋 和
乃之比 ねしひ 諮 カハセミ 日 和 与考比 よろ 笹頴 和

酸 和 使 客作 憐 日 遥 故 万
囲人 和 憐 万 初瀬 雄井 和 戴星 和

臀 和 頷 首蓄 和 鞍馬 和 鑼 和 代 和 鶏 日 杭 和 胡籙 和
大糞 和 大恩 和 鹿魚 和 鼠 和 鼠 和 絲 和 磬 和 山峻 万

也末比 やまひ 病
末比 まひ 麻
末比奈比 まひなし 賂
計比乃于美 けひのうみ 筍敏海 万
不奈与曽比 ふなよそひ 船装 和
不気比乃者末 ふきひのはま 浜敏濱 万
已末比 こまひ 本麻
已く呂志良比 こくろしらひ 白敏 日
也末比く良波 やまひくらは 巴戟天
末比利久左 まりくさ 若参 和
末比乃加之良 まひのかしら 雲冠 和
不知乃之南比 ふちのしなひ 藤垂 文
不曽比 ふそひ 節 和
已比止比 ことひ 特牛 万
已比 ひ 紐 和
已比和 ひひ 忘草 ワスレグサ 和
汙 和

江比 え 釋
安留比 あるひ 或
安奈く比 あなくひ 麻行 竹
安末比冊 あまひさく 妬 故 日
安左比南 あさひな 鄭寅 和
安由比 あゆひ 御菓 日 万
安比力 あひか 百
安比ぐ あひぐ
左可本可比 さかもかひ 麥 日
安波比 あはひ 文
安力比 あか
安南比 あな
安不比 あふ
向麦之比 むぎし
可対安比 かたあひ
安比於比 あひお
左可比 さかひ
安左比 あさひ 穴石比 日
安 蓼
清盲 和
椒醤
和生
境 日 万

左京比 櫂 禾
左比可 雜賀 万
左比毛乙乃加美 郷杜祢 日 戈力比 据肩 禾
サ之比 亡目 サ比 蛇 禾
三 不留比 濺多襄 志比 椎 日 万 万 禾
志比年 志比那世
志比天 福 禾 恵比左備力留 沈酒 日
比止太末比 弾 万 比止比サ久利 左白祢 禾
比止比 副車 禾

比力比 額 禾 比ク留 蝦 禾
比ク南安弟比 比ク羅久 疫 日
毛止由比 雛拾 毛乙比 毛乙比 毛乙比
毛力比 毛乙比 毛乙比 毛乙比
毛也比 鬱多 禾 毛乙比 毛乙比 毛乙比

と

を呂和
を八利
を保年
を止く比
を止利
を止女
を和

岑万 山の尾 呼嘘和 雄 芦 弦 尾万和
蛇万 くちは 蛇 を波
洛 尾張 を冊不
尾様万 を止く比
前日万 を止利
雄 踊万 を止已
少男 を和
老翁日万 を和

挟 を止利
遠変和
前年万
婚多日
少男弁
伯父和
條日

を和那え
を利不え
を加八良
を可春
を与比
を多
を年南女

微弱日
俤幕
雄抜日万三
駟和
犯中
及
稼和
嘉日

を和己和
を類
を可
を可世
を与久
を力
を年奈
を千止

彼此
居万 おり
罠万和
花日
源
女名
女万 ヲウナ ヲミナ
吏

を乃 斧 和
男
壹男 日
小領 濯
桶 令
鞦 和
経延 文
誘 日

を乃こ久
を久陳
を久ゑ
を対
を介ゑ
を己利
を己加利
を己ゑ

戦
麻鞦
篆籠 文
麻筒 万
白术 和 万
麦
怠
鑾色 和

を左
を左
を左カ
を左南
を左武
を左
を考奴不
を考乃留

筬
長
他田 和
不胥 日
治 万 和
飯 和
補
貫

を左通
を左
を左起
を左 函
を左起

明直 日
倭強 日
不敏 日
不買
雅
兔 万
萩 万延 和
垂津
招鮒

を三那
とうゑ
をく

女 万
駕礜 万 和
蔑 和 日日
惰 万
欲宮 日 万
刼
世利を
はりと
芭蕉 和 佐 止を
とこ

を三奈
とこ
をえ呂乃チ末
をえ加去
とどろのうま 張弓
をえかて
をえ麦
をえもろ
をえ比
ものを比也可須
とびやうし
中下のと
去世を波
だちとば
世良花
韋 和
杉麦
蠅

止
とうゑ
止 麦をえ 止利
とつをえ
和左を麦
わざとうゑ
可を武え
うとひ
可左を利
うとうゑ
加えを
カ左考れを
たくれと
太を也女
たとやう
如人 日

撓 万 タハヽ氏 止
とうゑ
止比を
とび
雞
鶏 和 ニハクナフリ氏
加を麦
かとうゑ
加左を
かとうゑ
蠣蝛 和
可左を利
かとうゑ
加えを
笠居 和
カ左を麦
かざとうゑ
与を利
よとうゑ
多を也可
多とやう
羅を利
ラとうゑ
賀集 和
風流士 万
如人 日
薫 万
連枷 和
風招 日
茅枳
栖娜
九枳

奈を左利
於を乎利
久を久
也を武
未を末
天を乃
安を止
安を乃利
安を乃利

篠 タカノ　竿冥　手を　魚
頬　於を乎利　大内
鐶支 和　也を武　和
未を末　申 日 万
大支 支　天を乃　祈 和
安を止　磯 和
蔓菁 和　安を乃利　慎怜
淺溟 和　安を乃利　陶器

安を左去
安を左去

鮭 和　安を美
祇子 和　安を美
牡鹿 日 万　碧海 和
淺標 万 三を久
日 美り力を乃チ末　磯 万 和
芝 万　繡 和

於ゆい　老オユ　日元

於ゆいて　奥ヱん延

於ゆいて　於ゆ天　於ゆけ対

於ろう　於ろ可　於ろい可　於ろう可　於ろう可　於ろう

凡（ヲヨソ）　於保与若　於本太可元

人民（オホンタカラ）　於保　於本

蒲萄（タイコン）　於保年　於本

祖姑（ホ）　於保於去　於本

大根（オヒ）　於保こと　於本久比

大蒜（ヒル）　於保不　於本由美

虎子　於本女

鼠（ネ）　於保禰武

雞（ケビ）　於本

蝦蟆（カハヒキ）　於本

蛙（カハヒキ）　於本

可元　於保武太知乃

可元　於本三知

於保美于三

於保三毛久左

於保見安可之

於保

於保比毛

於保せ利

於止呂

於保

於本世

於止

於止呂久

万

万

万

万

海藻（ワカメ）　於本

海藻（ワカメ）　於本

海藻（ワカメ）　於本

於止呂不 裏
於止こ
於止可比 第 禾 オトウト
於止南 領
於止久余 乙 訓 禾
於利宮函 下
於函 織 日 万 禾
於与礼己止 妖 日 万
於止ぐ
於止函
於止子女
於止奈比
於止須
於利毛乃 ものの
於可美
於与比 大臣
於止函 労
於止子女 婦婦 禾
於止奈比 冨 日
於止須 怖
於利毛乃 掎 カハタ
於可美 霾 日 万 遑
於与比 指 禾

於与比如考
於刀也可 鵜 禾
於礼 続日 鶴
於函 襲
於函波 遲 万
於函不 惰 日
於函こ 凹 日 万 サケブ
於函 御去 日
於函ひま
於函ひま
於函ひま
於刀美
於礼 愛宗 禾
於函 爾 日 坂
於函 恐
於函 蟹 万
於函 冏 日 万
於奈こ
於函 嫗 禾
於函不
於函こ
於函
於函不
於年于未函比
於年也于こ
於刀美 原陽師

於乃連 おのゝ
於乃可良 おのつから
於久 おく
於久ゝ おくゝ
於久天 おくて
於ま おま
於ま おま
於ま おま

於之天乃不三
おてのつと　於比止利

韈　日　於比
おび　於毛可対

韈　禾
おびより　於毛刀可

沢浮
おもしさり　於毛不

思
おもて　於毛天

面表
おもて　於毛武久

赴
おもむく　於毛天

中下れおい

奈於保世止利
いなおほせとり

稲負鳥　禾
いなおほせどり

伎加刀能於者
きかとねおは

外能毋　禾
とのもり　八ミ加刀能於本知

外能父
とのもり　仁於毛比

伎乃於比
きのおび

将水　禾
はしみず　知於毛

弦音　禾
はつね　於毛

走能　日
はしり　知於毛

乳母
ちおも

加八良於者知
かはらおち

菓　禾
このみ　于久於毛比

苗　禾
なへ　久良於保比

鞭　禾
むち　乃於毛

菖蒲　禾
あやめ　美乃乃於

鞭　日　万
むち　美乃乃於

鞭　禾
むち　美乃乃於

中下よ木のうつあり
なかしたよりきのうつあり

ヲオのさうい
をおのさうい

箕面
みのわ

逢
あう　去保

巖　万　禾
いわほ　伊保利

又百立山　万
またもたつやま　也末

庵
いほり　伊保利

芳
かぐはし　波之

庵
いほり　伊保利

芳
かぐはし　波之

懐　日
いさ　伊保利

芳
かぐはし　波之

白
しら　仁本不

芳徳
かぐはしとく　波之

頬
ほつ　保

保ゝ加ゝ去
保ゝ
保ゝ
本ゝ天不
保ゝ春科
止保和
止保張也
止保ゝ呂ゝ
止ゝ已保留

厚朴 万和
破紫 日
風藤 和
繡
十方 和
上総 和
大 日 万
帯

保ゝ刀和
保ゝ陣爽
本ゝ惠此
保乃本
止保留
止保
止ゝ乃本留
加去本和

帳 方立
面子 篠 和
熊笹 拙
燭
日坂 万左孫
壱坂 万 和
細
橋橘 和

可保
可刀保
与呂已保比
与呂保比
与呂保比
与呂保

新
片糸
伊
粉
源れ
万
裡

可保留
加爽保
与本呂
太和毛止保留
丁 日
姫穂 万
葉
俳細
万本
源麦
速入 和
細
源 和

奈保
奈保之乃已呂毛
奈保和
奈保之
奈保和
奈保
奈保
奈保

乃保考利
の保こり
於本賀南利
おかさかり
也本可由久八ま
やかゆくハま
己呂本比
ころかい
己保利
こかり
安久函己呂本比
あくるころかい
美り左本
みさか
こ本
しか

紐 ノコギリ 和
於保不
おほふ
於保こ
おほ
大
多
度
八百日幼渡 一万
己保呂考
こほろぐ
安左可本
あさか
実本不
さこ
美り こ保
みほ
志保天
しほぐ
膳部 和
魚
競
藤波
鞍

志こ比こ保
しこひこほ
比こ保
ひこほ
春奈保
はなほ
醤
質
江
櫻 和
烏帽子
領
殺

(江)
兄
え
兄
えい
兄保こ
えほ
兄利
えり
兄カ和
えか

比止こ本
ひとこか
毛与本須
もよすど
一八
偉

臨 和
江
江胞
柄杓
柄杓
縁 エン
兄冊
えん
兄和
えち
兄カ
えか
兄多
えた
技肢
技肢
夷
兄和
えぐ
兄多
えた

棧 和
蕨尾
板 和
渋撓 和
岡崎 名
蒲萄 和
鐸 和
胡弓
撰 姓家
烏 ウラム
疫 和
杁 和
服夷 日
鯔
亀衣寄

房 左
昆布 和 コブ
嘶 和
彼 兄
保 兄
奴 兄
貌 和
吹
鶏 奴 万 和
寥
漬
夷
中下の口
いなえ
花宴
夷
千枝 六
鴨柄 和
費
夷

奈可兄 なかえ
于兄不世利 うえふせり
久乃乃不兄 くのふえ
古兄 こぶのふえ
安兄毛乃 やすもの
左く兄 さぐえ
岐兄 きえ
比已者兄 ひこばえ

轅 和 たかえ
瘻 日 のむしぶえ
小角 和 こつの
肥 ヒユ 岐 ヒユ
肖物 日 さえもの
茅櫛子 和 ちくしこ
消 ひこばえ
藤 和 ふじ

奈兄 なかえ
乃武止不兄 のむどぶえ
不兄 ふえ
安毛比兄 やすもひえ
左兄 さえ
岐乃兄 きのえ
志兄乃久 しえぐ
比兄 ひえ

蓑 万
吭 和
笹 日 和
竹力 日 和
才 汗
甲
宛 ヌグ
蒋 万 和 冷

比兄止利 ひえとり
毛呂兄 もろえ
毛兄久比 もえくひ
春彼兄 はるえ
ぞはえ

鵠 和
法兄 ほえ
焼 和
楚 和

比兄乃也末 ひえのやま
毛兄 もえ
毛兄幸 もえぐ
す兄為 すえる

比叡山
蒲 焼
蒲黄
破

恵 恵
餌 和 ゑ
久王 ゑいぐ
舍 恵
止利 ゑとり
茅葦
奴乃已久 ゑぬのこぐさ
屠兄 和 ゑぬ
物尾茅 ものおぐさ

恵 ゑい
恵冊 ゑまず
恵奴 ゑぬ
恵為 ゑる

泳
梶 和 エンジュ
犬 和 イヌ
穿

中下の部

恵可保 ゑうほ
恵弁可久左 ゑんかのざ
恵久 ゑぐ
恵不 ゑず

恵武 ゑむ
恵弁左 ゑんざ
恵久保 ゑくぼ
恵之 ゑし

吠新
垣下方 恵保 ゑんざ
恵久 ゑくぼ
恵之 ゑし

矣
円方
廣 和
湯士

恵久保 ゑくぼ
恵之 ゑし
恵也千 ゑやち
止毛 恵 いもゑ
恵也之 ゑやし
久恵 くゑ
恵之 ゑし
恵久 ゑく

碎 放
鹿技 和
礫 和
鞆絵 巴
吉小 万
机 和

しすゑ 恵
かせ世 恵
たなぶゑ 太奈亨恵

つゑ 恵
久恵八良 加す くゑいらかす
こすゑ 恵
安奈丹恵也 あなゑや
由恵 ゆゑ
すゑ毛乃 すゑもの

杖 万和
楫
姸 日
友 万放
陶
末居 万吹
雙 日放 万和
孝
平安 和
家 万和
古
弾 日放 万和
凱 日
孝
平安 和
末居 万吹

鶏　芋　牡　白拂　胆　被　囚人　発蒙　出俗　繩　櫃　厠　被枕　膚　袍

櫃　厠　鶏冠木　釜　鼎　鮒　妙　相叔　釜　上表　堪　侍　服使　笛　盃　袍

天知波 于知八 万 久佐可 波 乃已利 寸 乃可登 日 天 乃可登 日 安 毛乃 天 安 安 安

岐良和力
大揚和
岐久王加于
石和者九
保弟和力
小揚
和々良
可年三王
芳葉
和々久
御惑明
加久乃安王
太和
上神和
結葉和
太王武
撥万
太王良
撥
太和也女
于王
宇和和
乃王紀乃可世
干良王
弱女万
浦廻万
久王年左于
久王為
萱草係
烏柴和

久留和力不久呂
也未乃太王
山多和古
未王力之
久王律良
胃和
已止王利
已王太可
已之米和良
左王久
安王由米
左王久
三王
志王
志王米
比之已王之
志王
志王
志王

は

中下にあり　日　におうと
あつめてこうに去る　伯　不
いい去　天去　沢
出羽　母
波羅蜜　旧　朱橋　和
作　貝母　和
星子　和　菴蘆子　和
常　舞星
伯耆国　後場

鶏　仁去止利　仁去可
漆　和　仁去　和去
櫛　和　仁去比
燎　和
鷄　仁去八世
鶏　和　止利安八世
裸　和　知去也
遅韃　知加良加去
尾張　ちかかを八利
ちかかを
ちかかを
ぬなを　和良去
ちかかを
ちかかを
ちかかを

王左八比
加之本
加之本利
加之本保年
加之本
加之本
加之本

于八奈利
于知去
于毛乃
於末之末須
久去カ
久去ク
久知奈去
末去留
不去乃世爪
久去
久去不
久去ハ
于去乃弓言
于留八ク
于末久波
于知去
于知去

浸蔦
圓扇 和
黑 和
山尼
企
委
柔 和
氣
上天 部
麗
る杷 和
鍬 和
加
舵
通
不破関

己去ハ比
安ハカ
安去
安去
安去比
安去比
安和去比
左去
左八良
左去
安去
安去
安去
安去世乃爪奴
安良八
左八利
爪良 和
爪良 和
爪良 和

戈八武
志八ゝ由ゝ
宛 万
酸
志ハ不戈
十二月 万
北ハ
琵琶
枇杷
世ゝ
約
春老
春南者知
則
三戈ハ
志ハ不戈
汀
嗚咽
北ハ
世ゝ
春老
藤方 周防

う

ハ乃于
痛

ハ毛于止
ハ皮于天于
蛛
庖丁
ハ皮于久王牟
刈皮 古
ハ乃于止
百人
ハ乃于
痛風 和
標紙 リンゴ
林檎 ゴ
括嬀
ハ乃于
ハ乃于
ハ乃于

前 和
奏者子 和
被 万
耶乎 万
陵王 王
奏
内蔵寮
弟

加干 加干不利
加干 加干不利
加干 加干不利

左干不
左干く
左干比
志カ干
志干気年
世干止
世干首ヒ
世干世干

蕾薇 禾
結 古
薔薇 禾
襪 禾
狂人 禾
兄
沼 禾
結

左干く
佐干く
サ京干
志干止
比干可
世干加干く
世干兄干

費用
茅紙
弓猫 禾
男 禾
日向
小柑子
遣遥

ふ

れ止由不
彼年左干

考不利
王京不カ
可京す安不
カ加不可
カ大不

拉糸
匹 禾
行脚
糸京
射干 禾
甲賀
塔

彼冊不
嘉素由不
止不京不
可什呂不
加不知
カ加不可干
カ太不止

埴生
清水郷 万
沼帛
結城 禾 日
河内 禾
甲斐
宅 万

例 數 太不礼已ミ呂
牡ん 日
源ら 一
国月
大内 和
今日
煙
燻 和

太不数
連不ら
世乃已不
乃不
納
未年兄不志不
計不乃已本利
計不乃久
万葉集
狭布恋 計不乃ら
計不利
編皇
集 和
已兄不乃未
万葉集

已不
天不
安不和
安不已
安不比
太不良比
賣乃不
由不可本

国府
藤
樗
拐
葵
結
和
暁日
夕訪

已不
安者不
安不利
安不賣
太不良不
賣年乃不
由不
由不賣
由不賣

鶴 和
葉田 日 和
漳泥 和
扇
国作 万
公任
夕
結 和

由 美 可 不 美 知
ゆ さ う め み ち 世 文 九 志不こ〻年 さ ふ ー ん 牧 ん
毛不
う し 思 万

む

什条ムトウトまゝゝゝゝゝゝゝゝとあつめうゝ九ウ
又字ム又字ムゝゝゝゝゝゝゝゝ渇きるハトヘトあ字の
ゆゝくうけまめをのこ字況てうゝれゝとのムウ
もにはとゝゝゝゝゝゝゝゝ

うし　大人 日

ひとぬと　ちぬのうみ　海 方

さめがい　鯊 魚

ひとをと　くじら　鯨（ハモ）　わだつみ　海神（子言）方

おほあらかひしものこと　大己貴命（オホナンチ）

こひしらやさ　三弦　をぐら　蘿

もやひ　紡（ムヤヒ）

ひとふと　さざれ　三礫

ふとも　さつをぬ　作（サモラフ）

へとめと　うんちめ　与連歌

うれめ　乗女（ウラメ）　うまかへて　馬換

へ　猪 日（ウメ）　くるめさ　反猪（クルヘキ）方

たりくめかへ　沼貝（ミリクヘカヒ）　ものべらさ　矢喰（スメラギ スクロギ）

めとかへ　なへよ　蓮方　うくへ　浮

むこまぶね　くくるる　蕣　くくふ　紡

ちくくふ　帛　かくり　冠

かうしゐる　氣
くるくる　頑
たいれ　戯
ゆかりの手　合歓
ゆかづる　舐
くるふ　苦
けりく　燈
くるふ　何

かるうり　端午
かるふ　遊
たのふ　楽
ねる　眠
うふ　浮
けり　煙
えふ　撰
ふ　結

荒　息　也以二字中院五巻抄

みだるふ　いるひ　詞　あひ　忠
さのひ　楽　うひ　浮
うれひ　仮遊日　苦
えひ　撰　ふひ　號
とゝなるふ　ちる　仆　鬱
あり　淳泥　あく　扇
あく　結　あの　結

葵

みょうとがき　ううぐい　髪搔　くしたち　神餞

かぐさい　髪際　かぐのこの　部屋

たくうぐみ　馬乗　てくげ　まゆみ

みょうがき　からちん　猪口　かんべ神戸

んづけ　とぶ　んづめさ　と紙

なうぐん　仲文　きぶむ　京文

くしひ　公利　きんぐふ　公但

①　いとぐ　羊羹　いぼぐる　蟠根

いへどうじ　主人書　いのちぐじ　狐

いとぐき　足　いとぐれ　弦

いとぐ　蔬イモガラ　ろぐて　編

ろくぐつろん　六十老　ぐふぐじ　花持ち

ぐんぐう　繁昌　ぐぐさぐ　子数坊

ぐぐのぐちえ　掘立校　ぐぼぐみ　末孫

ぐぐく　浮　ぐぐみ　蕎

ヨリド　紅　かういそどり　布衣帽
色いど　平氏　親子　そんどき　老食
ちりいそど　亟　濃子　そそどみ　灯ん
ちりはまどる　同麿　ちりまどく　塩ん
ちどのく　紋仕表　ぎんど　脩附
るいど　数子　そぶど　頂（ウナジ）
ものこどま　磯紋　紋盧当
それども　後乗　そそど　擡色

ヨりまどく　性生　かりまんを　庚申仕
うしじ　麹　海師　かりこう　言ゆ子
かをのヨりじれまり　芸義除伊糸
ようど　迎辻　たいそじ　大床子
なりぶく　奮迎　ぎんどく　紐用
なりまどれ　塙ろ変　きいまん　伶人
きんど　櫺（レンジ）　きりど　瘡治
きりど　領　そうどて　地

そうじゅう　猶正　てんじ　疑毛　辻
つまぐろ　強指　げじげじ　芝草
孫いじん　倆人　孫んぞうじ　多行
らいじ　儡子　らんぎゃふい　紫奏結
むじか　猪　うんじて　酒る
うじ　鄙　ぬんじ　慌
ならじね　蔦椎　なりじこと　同
ねんじゃく　須ん　ねんじゃう　青

げごく　地獄　ゐど　冨士
えんがうど　金剛寺　こうど　犢
こうどうり　困　こうど　火葬　巾子
えんど　燕脂　えんのぶつぐや　役行者
てんじゃう　天井　あと　天上　てんまく　天幕
あるど　主　あきまひ　法育
あじろ　網代　あじゃと　阿闍梨
さうじと　西京　さうじ　曹司

さうじかろうて　清下　さくまり　鑵
さくさあろうど　一年　さくへまじゃう　文殊
ぎょんじゃうど　祇園精舎
きゃうじゃう　京　きゃうど　香匙
ゆうもど　湯桶文字　めうぢき　荒蔚
めうど　牝牛　めまどろき　瞬
みょかふど　蘇　みとまろ　漂信
みょうど　名字　こうふ　紐

ちぐらくらかい　砥
ぢちのうのい　七曜星
ぢぐい　自害
ぢうじ　如
ぢよさい　如左
ぢくさい　辞退
ぢくんこ　紂
ぢんせい　仁政
ぢうむ　陰陽
ぢちいき　月域
ぢうじて　拙而
ぢよしゆく　叙爵
ぢぶい　世代
ぢかい　寺門
ぢんこう　人口

ぢうでう　十帖
じうらう　上臘
ぢうもの　什物
ぢうぬ　譲位
ぢやうい　ようゑん
ぢやうぶんこ　西三位
ぢやうろう　板橋
ぢうぬ　須
ぢてう　付丁
ぢうきろう　倉廩
ぢのど　陪殺
ぢんさうかつ　四神相応
ぢまのい　自然日
ぢぢ　手退
ぢづける　緒
ぢうら　纒

きびがひ　槻
きびのまつ　永日
きびよ　絃
ひけび　羊　未
ひつぢ　坤
ひぢさえ　鹿角菜
きくきんど　木槵子
せいど　青磁
ぢらぢい　ききのぞ　厨
ぢど　清士
ひなきいどて　映日
ひつどぎ　白鮮
ひんらど　槟榔子
ぢのど　香　祇紀
きのきんど　悉
せいぢく　西浄

せんぢよ　前祇
ぢいぢん　陳子
ぢいとぢど　濤　いとぢど　子子
いけぢのぢ　沃　懸地大力
いしのかぢぢ　貸稅　いとぢど　泣　血泣
ぢかのかぢど　外貌　はかなぢど　邪勇
ぢぢど　孤　悲　悔　ぢぢぢ　加通
ぢいど　手池　ぢどぢける　減疋

そぢむる　歷日　どぢぐう　鰯
ぢみのこぶぢ　冨岩　だりひぢ　磨泥
ぢぐい　持戒　だんかぐ　沉香
ぢぐぢん　立急　ぢびぐう　持病
ぢす　懦　チツ　ぢぢ　伯父
ぢぢて　怪　怪　かぢぢさ　素子
かぢぐぶぢ　莨英　かぢ　加持
かぢぐどん　和炭　かぢひぢ　無病

かぢぢやう　定考　うみぢぢ　髮筋
ぢぢのぢる　攀上　ぢぢぶぢ　冉遺
ぢぐぢう　乃場　ぢいぢ　築地
つびぶのぢぐ　延儘條目　ぢぶけびと　佞人
ぢんぢ　沙爾　ぢあぐぢ　舳艫
ぢぶぐぢ　大祢氏　ぢぢぐぢ　而揮
ぐぐんぢぐ　老池　ぐぐぢぐ　緑　觀
ぐぐぢぐう　園　ぐぐぢぐう　文年

ふるまのまぢ　車榻　まんぢう　綴部
もののえん　義宴　ものぢうま　茱
ことぢ　桎　徽　こまぢ　小部
こうぢ　戟部　あぢ　鱠　駕味
あぢひう　駕嘗　あぢきかう　兵書
あぢなし　部　豪　あぢつひ　味　饗
あぢさけ　味酒　あぢまあ　幕屋
あぢまさ　榻榻　あぢさい　紫陽花

あさぢふ　浅茅生　さうぢ　揚條
さうとぢ　瀬瀬　さうぢう　京中
めとぢて　閉目　めぢ　貝部
こがぢた　子猫　みうぢ　小鬼
ちうぢ　塔婆　ひぢ　泥土　肘　臂
ひぢまさ　刑　ひぢさ　拙者
ひぢさめ　臂差面　ひやうぢう　評定
もぢ　戾　猴　猿　もぢずり　絞物

をみなへし　乃美奈乎　もゝぢ　百枝
すゝかひぢ　遊行柴　ゝゝがし　筋藤子

（ず）

いろをかなんど　色香　いけゝる　生食
いゝぢぐべ　井出川　ゝひゝみ　指置
ゝゝび　若菜　消　若遠
ゝゝぢ　菜摘　齋　ゝゝあへど　和敬
をこゝずみ　真炭　ゝゝぢ　行立

ゝゝどいゝぢ　田葛之付
つけゝゝまひ　屬弾　ゝゝべ　淮　標
うゝび　鴻　濱　うずゝく　洑
うゝびざゝゝ　珠樓　ゝゝどゝ　櫂
ゝゝどゝ　居偃　こゝゝゝ　座作
こゝずゝ　指　拂　ゝゝゝ　不徵
えいかゝゝび　敬不固稗　えいゝゝゝど　敬不敬
ぐゝゝうゝどい　彩雲　えゝど　ふゝる
ゝゝどゝうゝゝゝゝ　服部

ゆづる　弭　ゆづるゑ　弓末　ゆづ
みどり　山藤　みどりこ　山藤
ものゝまぎり　繼更掛　まぎらず　とゞ
ゐいど　映　ゐんずる　遠
ゐんず　椀　ゑゑゑび　笑
ゑび　百舌　ゑびす　勝敢
ずづつ　ゐゐ　ずづ　次
ずづか　ゐゐ　ずづか　於鹿

（い）

いろゝづ　鏤　いゝゑ　完漢
いゝをいづる　出家　いちづ　一途
いづち　市　いづづ　悵　劬
いつきかづく　冠　いづのちゐ　猪威乃別
いづかのわり　飯綱法　いづる　出
いづら　蛇不等　いゝづる　血泣　憂泣
いゝづび　石投　いゝづび　伊勢投

そぼむ　部合　そづる　和歌
そづろひ　麗　蕩　そせづろひ　逕部
ふへづき　潦　かづえ　末未
やづき　蒜　植殖　磐　かげづき　注乳付
かづき　山茨荊　ねんづき　梅楊
ちをづま　ちを書　ちづく　在
ちりづら　茨塚　ぬうづく　叩歌
とをづま　ちをる　そづる　脂

をづら　自　化来　をまづき　几　蘂
ほづき　ほ水　ほづうま　麝香海
ほづひ　炉累　ほきづくま　紡机
かづきめ　潛女　ふづひ　編名遣
ふづる　奏曲　うえづき　殼咽
えんづき　祇国　かすづう　鉢
かづく　冊祠　うせづえ　麻枝　鼓
ふづひ　擂　ちひのづ　吾妹

たづうづえ　手杖
たまづくり　玉造
づらとり　力彩
ほなづ　花妻
ちふいづ　紅波
ふづき　脛
ふづく　号
なまづ　鯰　歷易　うまづき　厩月

うづくまる　蹲踞
うづき　卯月
うふづく　泥顔
ぬづ　丹眉
ぬのこづち　牛膝
ぬでのつくづ　丹生嶽の
ぬづけづり　四歌撰
ぬづ　形除
ぬのづき　起出
ぬのこづふ　七條
くづ　屑
くづとる　窮屈
くづき　内蒙察
まづ　矣

きーみづ　吉法水　けづる　梳
おでづひ　爺役　ふまづくえ　手葉
こづえ　本梢　えんづ　縁
こーろづひ　心臓　ていかづ　絡ん
てまづさへづる　手遊　あくづの　悪戯坊
あとかづ　防己　あとづけ　吉漬
あづきや　四河　あづき　梓
あづら　射場　あさづひ　朝月日

あひひ　お爺　さいづち　槌槌
さゆるづま　冬妻　きぬづき　衣被
きづる　忌月　ゆづきてる　中付
ゆづか　弾　ゆんづえ　弓杖
ゆづる　譲　ゆづるし　杠
ゆづのつぼ　湯津槽　ゆづ　弓庚
ゆするづき　洗髪　めとづき　婚付
めづる　愛　めづト　珍

みとづく 源澪　みづの 圀氣
みづる 松 乘　こづあひ 滾
こづゝ 湖　こづのえ 壬
こづち 虱　こづし 山廚子
こづゆひて 繋結　こづゝひ 矛鋸
ゑづがき 瑞籬　ちかづけ 鰌
ちゝこづ 機子　ちづ 賤
ちづり 閑靜　ちづまりたまふ 坐定

ちのえ 沉枝 下枝　ちとづゝへ 下仕
ちづ 弦弓　ちいづる 遣送
ひつあ 蹄　ひんづゝ 饗
むこづふ 聟　もゝづく 索
をづく 海苔
ちゝこの子の外ふれまぶこ 産りし 彼方
いゝゆ いゝゆ ろゝら ろゝは はゝほ ほゝへ へゝひ ひゝふ
ひゝゝと ゝとたゝ ゝとわゝ ゝとかゝ ゝよゝ

やよう　え　えう　を　をう　をく　をくら　をくらし　をくらす　をくらす　をくらす

休息　いこふ　いこか
闘諍　いさかひ　いさかひ
威猛　いきおもし　いきおもし
匂　にほひ　にほひ
臭　くさし　くさし
臭習　くさ習ふ　くさ習ふ
臭穢　くさ穢
匂　にほひ
嗅　かぐ　かぐ
嗅　かぐ
偶月　たぐひ　たぐひ
偶人　ぐうにん　ぐうにん
機嚢　はたご
櫓　ろ　ろ
櫓　ろ　ろ
櫓　ろ　ろ

ぞうい　傍岸　ぞうはん　芳飯
ぞうほふ　演本師　ぞうふく　遠く
ぞうこ　平生　天彼　ぞうとう　嚔る
ぞうむし　昆虫　ぞうほう　放物
ぞうり　祝初　ぞうきのごふ　掃拭
ぞうい　灰　ぞうひあへぐ　死羅合
ぞうびる　蔓　ぞうはいる　如之珠
ぞうりの　豊院　ぞうたん　如皮

ぢうがり　如房　ぢつう　入夜
ぢうか　荷橋　ぢかい　色二
ぢうにんと　仁王会　ぢかつて　治者
ぢうゆづめて　方曲　ぢてふ　風蝶
ぢけつかる　佛唱　ぢつて　細
ぢてるたくあげる　蛍る昇
ぢつてまり　法楽　ぢんだゃう　女性
ぢつて　法宝　ぢつて　風風

布袋師　法師
法文　法令
法下　法令
蓋葉夏　別瀾
帽子
厚朴
類
廢寿

報恩　及故
法見　展
法見　浩法
法見　同上
別納　諸使
及化　澈
苗裔　表補法
法見
法見

[illegible] 膳蛭 [illegible] 矢遠方
[illegible] 去鉢 [illegible]
[illegible] 揆 [illegible]
[illegible] 袁 [illegible]
[illegible] 十西元 [illegible]
[illegible] 鼓 [illegible]
[illegible] 豆腐 [illegible]
[illegible] 流沢 [illegible]

[illegible] 竹蘆 [illegible] 竹人
[illegible] 遠頂寺 [illegible] 訪
[illegible] 同人 [illegible] 胴根
[illegible] 朱京神 [illegible] 洞流
[illegible] 元出 [illegible] 向
[illegible] 矢沐 [illegible] 長附
[illegible] 和附 [illegible] 結師

ちぢのこころ　富士の嶽　ちはやぶる　屋形船
とびはし　同屋　とびはし　古歌
とひく　解　紙　ちもとかよ　引唱
ちもとかよ　千年橋　ちぢよ　遠
ちぢこう　沉香　ちぢこう　渝石
ちやうらう　老　ちやうらん　桃灯
ちやうぶたい　長生殿　ちやうしゅ　頂戴
ちやうしゅ　廳

つとうこん　丁香　つとんこう　弟子
つとんのまつりのてうがく　除夜雷鳴
つとうかう　沈香　つとうごう　林檎
つとくちのくえん　古漢学友人
ふいうう　浮雲　ふらう　流浪
ととうかう　書状　とと　嵯
とつかう　元河内　とつかう　元城下
とこのへのらう　紅房　とこのへ　押山路

とくはう　和尚　とくさだぶ　惰行
とうたう　芋蔓　とうとして　駝幼
とうんぐるま　車家　とうはい　海竹
とうのぐんかう　和の龍胆　とれもかう　本書
とうう　王　とうとうぶ　王命婦
とうさへ　家家　かいけんぐうう　階下
とうつとうう　海棠　とうぐう　海棠
かいつくろふ　剛体　ういうう　開図

かくぜうう　川辺遥　かくうそ　鞦
かくかう　背蓮　かのかう　蓮軍
かりこうう　五月　あうう　綾命
かへさいまうに　綾卜　かうう　勾引
かうう　新次　かりのかし　編麻衣
かりあを　特縝　かぐうふ　加家敬布
かぐふ　番勾引　ううふ　亟逢紙
かうう　芸の蕊　かううど　方人

かるれ　セう志ゑう　　交趾少將
かるこ　猪浩　　かるのまろひ　肩百乳
かまつびんが　迦陵頻伽　　うるつまい　叔　芙
かるあ　叫　称　合浩　　かるのまろ　賓張
かるすあつぎ　射干　　かるし　芦　菜
うるうと　　樓　　かるて　辛苦
かるぐ　神　　要　かるぬ　神
うんぐる　動　考　　かるやぐ　紙　紙

かるごれてこ　香壺匣　　かるのうひつ　香辛樓
うるぐ　香色　　かるぐい　香歌
かう　甲　　かるい　蒜侍
うるい　交衣　　かるえん　庚申
かるぐう　定考　　かるく　考
うるひ　考妣　　かるべ　罰　動
かるど　麹　動夏　　かるど　柿子
かるし　格子　　うるん　言欄

うゐこぶ　うるゐ子　かゐ山り　冠
かゐる　家　かゐぐりふ　張弦
かゐぐり　剃刀　うゐづら　髮束
かゐもてゝ入　廣袋　うゐらへ　立麗
かうち　河内　うゐうのき　合歡木
かゐか　高居七　かゐ山り　梅梅
かうふ　かうふ　かうぶ　翡翠
うゐてふさぶ　上ゐてふ伏　かゐぐ　うゐき　形仗

うゐけ　うゐ家　がまぬさう　蒲広物
うゐふ　結玲　うゐ　詞　食
うゐ　賣　沽　かゐる　更　習代
かゐうを　鱧魚　うゐもみ　蝙蝠
うゐぐ　郁芳　芳うゐぐ　茗
うゐぐ　按　かゐ　麹
うゐふ　梅　囲　かさゐぬふ　笠縫云
かさのゐ　凡まうちぐみ　榜女　夫人　詹

あのかう　亀甲　ぐぜのそう　風紋
かもめのつまじのまつり　賀茂祭
ぐぜのつぼ　高芝　徒倚
ようばい　昼顔　ようあい　亭合
ようたふ　妻添　ようたまつけ　美紋
ようたかう　粧変　ようふ　粧　装
ようかひ　世習　ようこう　用途
ようい　用意　ようえん　容顔

ようでう　霜雫　ようち　幼稚
ようせう　幼少　ようせず　昌不
ようす　要須　ようのいる　美入
ようのう　美岳猪　ようふ　摸
ようこまつと　実子　ようぐぶ　莖生
さいくわしのたつの　大屋子猪
さいぐわつ　大晦日　さいぐまつ　大晦日祭
たいぐう　大廊　たつか　笋

たのむ　雪降
ちかの　戦
ゆきぐもと　元信
たびまち　摂
しらげ　清
だいこい　兵庫
ゆきのあし　幡補佐　しらい　持衣
しらまれ　結桑　鶴　しらぶ　当代

たちいん　風吉
たちのいち　彩陽
たまはちまり　西晃
みのうのみ　竹室生
たちまち　貴
ちまぢ　塙弓義
ちのうま　毎宝寿
ゆきしら　平　均

たちまち　鶴翁
たちし　庸成
たけはちまち　竹川信
たけの　竹村
たちまち　数春　側
ちまぢ　塙弓義　刀祢女
ちのうま　毎宝寿　浪姫
ゆきしら　平　均　民氏河原

遠例　糧米
陵丘　猟師　察況
料紙　御介
飢　療治
料理　察門
令法　況就
保安　十河
孫丘

知行　知行
奏　傍弘
傍坊　傍光
傍忠　傍綱
家遠　家廣
孫就　傍答
傍方　筆生
傍分　副傍

ゆきのした 谷蓋 たなびき 揚 絡
ますらを スウブ 絡 たなびく 絡 乃布
ちくさ 貯 蓄 たぐひ 比 乃 蒙
ちくさより 牧 蓄 煙 なびく 揚 絡
そこなふ 殘 害 たちまち 磯 和
そこなふ 新 たちまち 嘉 佐 師
つぎつぎ 追 討 つぐ 湊 集 乞
つぎつぎ 壹 收 集

つぎつぎ 仕 攻 支 つぎまつる 奉 仕
はぐくむ 養 繕 つぐみどり 襄 荷
つくづく 綜 つくのふ 慢
つくづく 詠 ゆがむ 孰 裏
ゆがむ 嬢 如 ゆがむ 强
ゆがんだるひと 歪 ゆがんだる 奉 三
ゆがんだる 撓 後 ゆがむ 忍
ゆがんだる 撓 別 ゆがむ 号

名負
直わ
布宮
納豆
吉礼
切糸
準
級
仲人
服部
習
追儛
法
乱文
第竹
鶴交
揺梅
揺焔
乱世
乱世
乱世

らうまく 拂料
らうがうき 狼
らうさい 癆瘵
らうすい 老衰
らうろうたい 朔孫菜
らくらう 落葉
ひいうのまつ 三月菖蒲
ひへ 部子

らうどなつ 郎拍
らうろう 牢籠
らうげ 老気
らうもう 老耄
らくらう 海陽
ひぐつ 奪

ひつ 白羽
ひつひつぐし 白花孫
ひつい 迫
ひつきつらつきみ 桜望しき
ひぐつ 蘇生
ひまとのもの 要物
ひきたぐつ 平伏
うちまつと 敵仆

ひつひぐ 白炭
ひつひぐつ 尚後
ひぐつきつ 鶴
ひまとのつる 拍子
ひまぐつり 味淡
ひきたぐつ 尚香
うちまつと 淀虎

家　家布
結　花
紅粉粥　文屋
文答　彩波
遠曽　孫愛
咸宗　癡瘡
井クヒウ
因統　戸籍
見風　冥加

疑　堅紙
命　曰云
宸奈　拭
大史
塑　像
激敷
大熊　湖
慶　男鹿

表　ひとてこど　巾掛交
ひんぎ　陰陽察　陰陽師
ひんぎ　乗昊　ものの子
ひんぎ　ものの子　浮子
ひか　姫　擁後
ひこど　擁後
ひせ　無陰　生
ひつる　猪　ものの色
ひつる　猪　ものの色
ひびゆく　学後　ものの初

ものの　ものの方　ものの
ものの　ものの方　ものの後　ものの後　猪
ものの　ものの方　ものの後　猪
ものの　官位　ものの　光明の色石
ものの　馬料　ものの　茅原
ものの　回章　ものの　言合
ものの　懐抱　ものの　麦
ものの　ものの　ものの　馬飼
ものの　ものの　ものの　栗栖

穀　れ
九曜星　細碎
切付
芸
雁
擬逐
新白
揚枝

揚物　揚餅
微
絹　澎
毎年
金人
吹嚢
志人
俵　俵

まるーらぐさ　大臣　まるーと　まる人
まるーちうんぐら　藤原　まるーのぐる　春と
まるーこ　糸木　まるーけり　清盛
まるーひろひ　なる射　まるーと　ト云
まるーたるぶ　内府　まるーしてーー　白云　敬白　清盛
まるーしてまるーさー　白云
まるー　糖　まるーのかぐ　藤原時頼
まるーさおりふと　藤生　まるーる　交新

まるーぬーぬ　藤原房前
けいまるーー　ロ相
けいぞーげ　藤原兼輔　けいのーー　藝能
けいろ　刑部　げーー　下向
けーー　乳　げーー　憲法
げんーげー　男重　けんーげー　憲法
けんーざー　部屋　けーじのーざ　弧付井
けーー　孝　けーー　孝
けーーさーじ　姫鞠　けーーと　乳母

かけがね　掛合
けちく　喫
けさう　驚恐
けぢかく　取形
けたく　下駄
ふぢなの　藤生野
ふるさのあをち　古木橋
ふちく　振

ふかく　不孝
ふかく　不苦
ぶかく　難儲
ふくする　苦欲
ふくろ　河豚
ふくる　封
ふぐく　ふぐ
ごよりぬ　五寸釘
ふまく　不要
ふたく　蓋
ぶんどく　豆腐
ふるく　糠
ふけく　ふけ
ふるく　蕨
ふぐく　本俗

こらへ　堪　こんがじ　金剛
こゝ　鶴　却　こゝろ　心
こゝろ　心　こゝろもん　心願
こゝろでん　心願　こゝでい　御稚
こゝくふ　孫　おゑ孫　祭
ごゝ　業　ごじり　困
こゝずい　洗ふ　こゝぶゝ　無
こゝゞ　沐浴　こゝ　海
このゝべ　光祝　このまゝ　好

こゝさゝん　穀倉院　こゝふ　元法　こゝろ　國府
こゝろ　巨　こゝ　心　こゝぢ　小路
こゝろ　巨　こゝ　心　こゝふ　胡桃　こゝ　来
こゝでゝい　小野　こゝ　心　こゝぶゝ　傳説
こゝぶゝ　黄昏　こゝ　孫　こゝ　希
えいゝ　英　えいゝ　英雄
えゝ　英　えゝ　依用　えゝ　待
えゝふ　撰　えんゆ　宴

えんだ　縁乃　えんぎる　きずな
えんこ　猿猴　えんせる　猿猴
えびぐ　衣被香　てる　隙
でる　帖　てらげ　まろ
てる　鯛子　てらず　鯛
てる　えん魚　てらあい　寂光
てる　外廷　てろる　嘲哢
てらだ　眺望　てらぶ　趙子昂

あとがり　泄　あらす　子
あんか　鍋鎌　あらしる　押紙
あらし　危　あまあふ　和尚
あふ　亀　あふこ　近江
あふくま　巧成隈　あふより　奥寄
あふこ　拐　あふで　紙
あぶざる　笑目取　あふぶ　扇
あふり　澤泥　あふむ　鶏語

あつち　樗　あやめ　菖蒲
さゝご　唱言の　さゝげ　豆角
さゝめん　相人　さゝぶなん　菖蒲
さゝのこと　笹　さゝゝゝ　鞠毛
さゝゝ　笹の子　ざゝゝゝ　笹の葉
さゝぶ　笹蒲　さゝゝゝ　笹の葉
さゝもぐさ　赤香　さゝゝゝせい　桑宮生
さゝび　薔薇　ざゝゝ　雑用

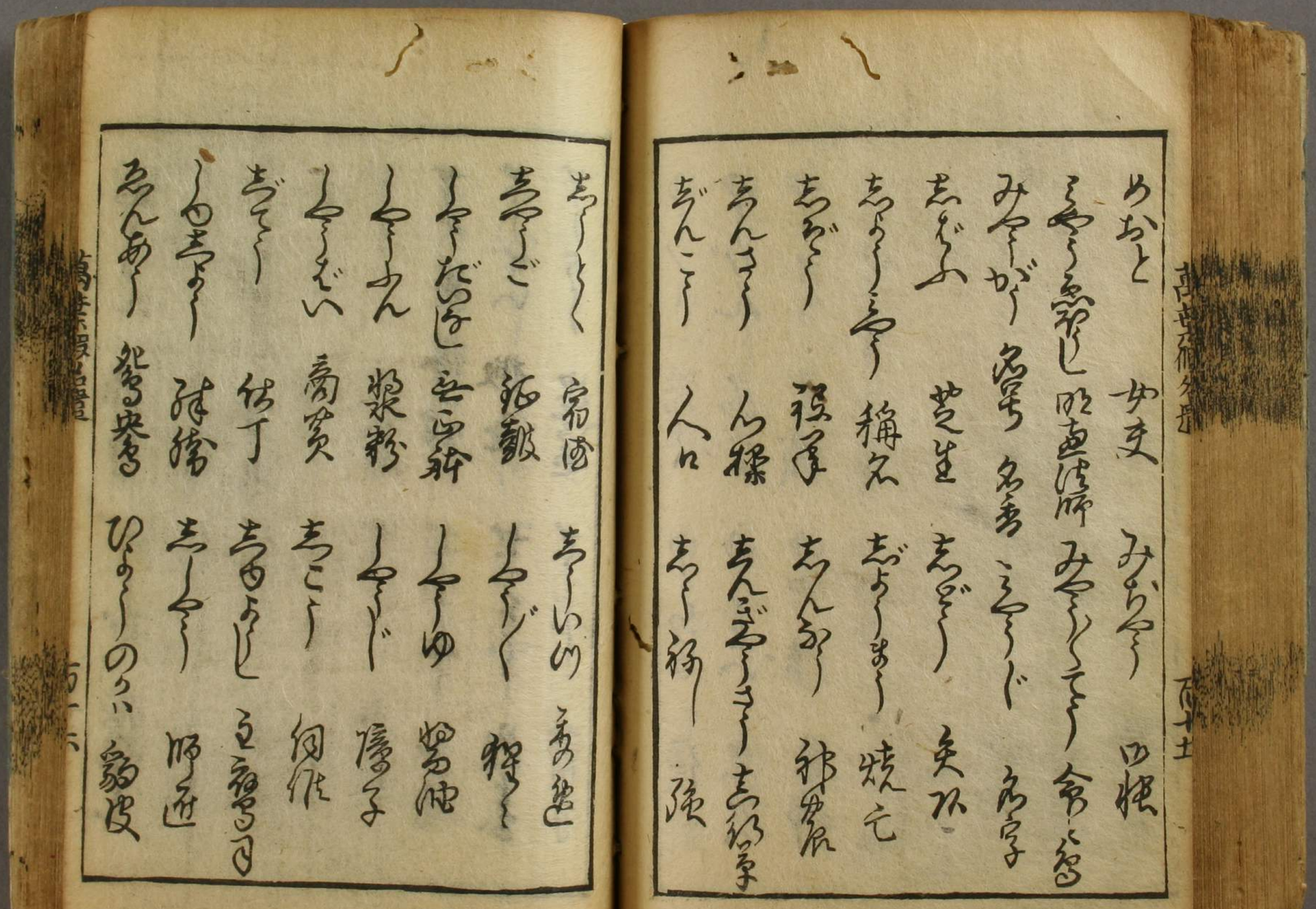
ざゝゝ　曹司
さゝどかろす　清下
ざゝげん　淡云
さゝれい　麥礼
さゝどさ　男連
さゝあい　笹藍
さたゝ　彩霧
さゝろぐでん　乞巧奠
さゝぐ　掃除
ざゝゝ　遣言
ざゝゝゝ　岩彩
さゝぐゝ　寂
さゝゝゝ　麦双
さゝゝゝゝ　北斗
さゝゝゝ　競
さゝに　急

ゆゆしく　慇懃
ゆゆしげん　恵美
ゆゆしく　玉藻
ゆゆしき　盛帝
ゆゆしづ　長屋
ゆゆしぶ　夕部
めづらし　玉垣
めづらし　面勢
めづらし　聲牛

ゆゆしく　慇懃
ゆゆしげん　恵美
ゆゆしく　玉藻
ゆゆしき　盛帝
ゆゆしづ　長屋
ゆゆしぶ　夕部
めづらし　玉垣
めづらし　面勢
めづらし　聲牛

ゆゆしく　慇懃
ゆゆしげん　恵美
ゆゆしく　玉藻
ゆゆしき　盛帝
ゆゆしづ　長屋
ゆゆしぶ　夕部
めづらし　玉垣
めづらし　面勢
めづらし　聲牛

ゆゆしく　慇懃
ゆゆしげん　恵美
ゆゆしく　玉藻
ゆゆしき　盛帝
ゆゆしづ　長屋
ゆゆしぶ　夕部
めづらし　玉垣
めづらし　面勢
めづらし　聲牛



ひるーん　孵蓼
びんぢ　黄朝
ひるーちぢる　俘虜
ちーす　帽子
ぜー　足蓼
せー　恵猴尉
せーてい　撤廃
せーよう　遺遺

びーげ　擦擦毛
ひーへ　毛氣
ひけー　比奥
ちーちー　毛以
ぜー　白炭
せーしー　沙將
せーち　沙見
せーど　蕭寺

せーかー　焼香
ちーせー　氷囊
ちーい　多糖
ちーぢー　擂鉢
ちーぢーふ　打遠
ちーふ　菜
すーすー　スニウ
ちーあれ　毒蕩
ちーい　蹟和

ちーのー　蒸蒸
すーいー　推量
ちーの　沙法
すーぢーど　菊陽子
ちーふ　海　敢
ちーふ　吸
ちーまー　受領

高石姫石
繋 佳琴 糸 集 糸 太
所渭 宅 古 郭 拙 集 者鄙
海世 漁火 糸 男 弓 姫物
姚 岩藤 糸 石近
石韋 綿帯 紀
云者曰 光藤者 伊波者
云維 糸 尾

袁 集 物 云歯敵
立維 弓 弓然惣 書板
太 恵 傷 疫 所
郭世 石 磯 石鶏 磯廻
お戸入 幾 石穂
不 吾 何 吾 作
緒 固辞 吾 菜
稲 逸 祭 畏

悪 日 蛾 万 勇 日 勤 日 繞 日 振 日 弥 日 茶 日 紫 日 蒲 日 蕊 日 白 赤 日 不知 日 馬 日 高 日 珠 万 偶 日 不知 日 不知 日 不知 日

偶 日 三 沙 日 砂 日 勇 魚 日 不知 魚 日 鯨 魚 日 清 万 鬼 日 鯨 浮 日 鯨 浮 日 鯨 日 鯨 日 偶 日 偶 日 偶

イエノオ 家緒 万　家地 日　那岡 イキナシハ　息迫 日
嘗息 日　気調 イキナシ　威 イキヲヒ　勢 日　活 日
伊去 イユキ　伊往 日　伊行 日 万　伊去間 イユキアヒ 万
石巨小川 イシナミノカハ　匂 イヒヲハル　云孫 日　云擺 イヒシラフ 紫
鶺鴒 イヒトヨ 物　云歴問 イヒトチムル　相 イヒソフ 日　飯 日
言 イヒヒウヘ　幽年 日　飯糟 日　飢 日　妹 イモ
蝶 日　妹 イモカヘ 万　妹行 イモカリ　妹遊 イヘ
鯰蝶 イモカメラホリ 万　一絢 イヒ　作鉄 ホリ 林

匂 イヒ 路　鶯 イヒス　京 イヒト 路
匂海 ロウミテ 原　海 ロウミテ 原　京極 ロク井スクセ 原　緩 ロウカウ 遠
袍 ウハノキ 伊
著 モヲ 礼　赤小豆 ハニフノコヤ 万　埴生 ハニフ 日　羽蓋 ハガイ
羽記 ハカイ 万　玄功 ハルカナルイメハリ 日　絡緯 ハタヲリムシ　俣織 日
蟋蟀 日　機織虫 日　元元 ハツカ　被 ハラヘ
鍬 日　解除 日　庵藜 ハフラムシノワザハヒ 日　平生 ハフコ 万
昆虫 ハフラムシノワザハヒ 日　反故 ハラナシ 古　祝子 ハフリコ 万

[illegible] 伊 被 ハヒコル 蔓延 日 蔓 日 這 ハヒワタル 波 ハ 蔓 日 波心 日 波思 日 波栗 日 柳 ハダヘ 波 ハ 波那 日 八 ハチス 花 日 法 ハコ 行 ニカヨフ 蔓 ハタ 不 ニカヨフズ 情 ニヒ 悅 ニヒ 楚 ニヒ 渡 ニハタツミ 際 ニホフ 香 ニヒ 影 ニヒ 沼 万 影 日 影 日 ニクヒケシヌル万 惜 ニヒ 疾 原 ニヒ 布 ナメ 奈 万 萱 ニヒ 草 テニハノ字 蓑 テ 日 影 日 妍 ニヒヤ 日 影 日 日

熱 ホト 文 蒙 ホトケ 面 顔 ホノカ 紅 日 ホノカ 黑 ホトオル 焼 日 風 ホウテフ 風 テフ 車 日 鬼 ホツミノアツ 車 日 熱 日 ホ 火 日 ホ 丸 ホ 赤 ツエ 万 種 ホツミノアツ 稜 万 ホ 焼 万 ホ 欲 日 ホ 冀 日 ホ 紅 ホ 遊 自 温 日 自 暖 日 騰 日 檀 日 温 日 自 仕 日 自 生 日 方 ヘ 紀 日 丁 ベ 張 テニヲハノトノ字 風 トキメキ 動 原 叙 テニヲハノトノ字 居 トコロ 左 トテ

外出 原 綢繆 日 司牧 日 合戈 日
鳥の囀る 原 鳥の卵 屠 反寧 万
旬 日 ちとせ 恤 万 宮 日 訪 日
宮浦寺校琴并 濤 測 日 屠る
金 木 調 唱 日 津石 捕
檜 日 執 日 牧 日 獲 日 外濠 モルミ
宿 日 殿 日 侍宮 日 弦 長 日
恒 日 例 日 法 三 宮不 日 八 宮濠 万

の組 日 夢 日 盤 日 盤石 日
宵節 日 若 日 回 日 號 日
鳥 日 戸 日 屑 日 月 日
屑 日 吸 日 他 日
猪 日 宮 日 荒 日 小 日 竹 日
手 拷縄 日 手綱 日 手 日
茅 日 破 日 千 日 破 日 千 日
裸 日 手 日 数千 日 嫡 日

乳母 日 乳母 万
乳母 万
乳母 万

龜青 日　怖 日　怪 日　怒 日　戰 日　船 日
奇 日　施 日　布 日　絁 日
小弦 日　小班 日　誘 日　裏 日　侈 日
奈 日　紆 日　久乃 日　悔 日　佳人部 万
奈 日　姉 万　姉部志 万　姉押 日　美人部 万
師 日　女信之 日　背 日　市書 日
排別 日　押立才 日　押 日　押拂 日　截 日
押疑 保　押蓋 大　押廉 日　多
　　　

蘭（ワラウス）仡 奕丸 日 軍（ワリフス）三 不忘 日
逸近 日 病祭（ワリラバ）万 蜘蛛 日 蕨（ワサウメ）万 麦 日
紆 日 作俳優（ワサラキス）日 雑（ワナヒモ）日
妖 日 笑 日 縮 日 狭 日 乱 日 編（ワキ）
側 日 家（ワイ）催 家室（ヘノソノ）万 妻妹（ワキモ）
子 四 弱子 日 惑（ワヒウト）老 万 他人 日 別（ワイタメ）
矣 日 除 日 遣（ワスレカ子）不忘 万 忘 日
稜（カイ）日 投（カヒクシ）一 亀（カメハシ） 只且（カバカリ） 流（カタリツタフ）

肥（カナクル）前 面果（カミコシ）方 形管（カリ）仿 用頂（カンラフロレテ）
髮（カミスチ）文 宮（カゼ）合 疑（カヘ）テニハノ 樊（カコヒ）
視（カイ）一、三 史 閑家 日 怪（カイ）日 拐（カイ）
灯（トモシ）名 河（カハ）日 河内 日 鹿 日 鹿（カホ）日
鍋形 日 亀 日 鼻（カホハセ）容 鹿 日 雷子 日 花 日
綾（カヘリコトニシラス）家 穀家 日 鶴（カモ）下 日 鶴辭 日
答（カシ） 可（カト）刀利（リノフト）年 乞女 万 絡（カトリ）日
加（カヘ）布（フ）嬢（カヘヒ）子 万 吟（カナテ）日 考 日

加茶敬布 万　逢 日　維 日　掬 日　傍 日
独忘 万　独念 万　参差 日　傾 日
紙 日　斜 日　阿意 日　高浪 万
肩弓乱 万　糊 日　角紙る 古　影
髮掬小梯 万　心孫 万　辞 日　副 日
賓根 日　衰 日　流涙 日　鶏冠木
呉藍 日　苦菜 日　擱 日　禁 日
織 日　外司 万　初官 日　乖離 万

葉 日　考 日　校 日　椎 日　撿 日　勃校 日
弱冠 日　囲繞 日　番切 万　胡麻 日
打帽 日　結 日　獅 日　鈴 日　新 日
副見 日　古代冠屋 万　隠 日　多 日　閉
猛 日　猛 日　祠 仍　猛 日　円
洗傍 日　嬪 日　嬪 日　要 日　結婚 日
男丁 日　威 日　勢 日　衣根 日
弥 日　又更 万　弥 日　弥 日

[illegible]八 慨盍日 万 張恵也志日 云恵

[illegible]日 [illegible]肩 文 [illegible]衣 係 指牽日

拖子 万 掬人 日 掬女 日 女日 掬屋 日 [illegible]

[illegible]女 日 [illegible]人 万 報 日 [illegible]月 八

相抱 日 [illegible]多 万 [illegible]吉葉 日

[illegible]文 北 [illegible]刈 多 竹村 日

仏人技 多 [illegible]日 作有 日

[illegible]日 [illegible]日 [illegible]日 [illegible]日

[illegible]日 [illegible]日 [illegible]日 [illegible]日

[illegible]日 [illegible]日 [illegible]日 [illegible]

与（タマフ）日 傳（ツタヘ）日 給（タマフ）日 玉切（タマキハル）日 霊魂（タマシヒ）日 玉垣（タマガキ）日 玉藻（タマモ）日 万

賜（タマフ）日 宮（ソヒナフ）日 副（ソヒフシ）日 搖（ツイタチノヨノホト）日 拵（ツイタチノヨノホト）日 殯（ツイタチノヨノホト）日 兵（ツハモノ）日 戎（ツハモノ）日 繼（ツハモノヨノホヒ）日 双（ツハモノヨノホヒ）日 湊（ツフ）日 集（ツフ）日 舍（ツフ）日 聚（ツフ）日

聚（ツル）日 手（ツル）日 集（ツル）日 万 鶴（ツル）日 桐（ツルム）日 交（ツルム）日 拵（ツカヒ）日 犯（ツカヒ）日 書（ツカヒ）日 奴婢（ツカヒヒト）日 仕丁（ツカヘレヨホロ）日 丁（ツカヘレヨホロ）日

仕（ツカヘ）日 使（ツカヒ）日 事（ツカヒ）日 役（ツカヒ）日 撥（ツカヒ）日 神（ツカヒ）日 事（ツカヒ）日 仕（ツカヒ）日

近習（ツカハス）日 稱（ツカハス）日 弼（ツカ）日 弦（ツル）日 弟（ツル）日

蔓（ツラ）日 力（ツラ）日 織（ツラ）日 文（ツラ）日 九（ツラ）日 蔓（ツラ）日

羊蹄（ツ、シ）日 茜（ツ、シ）万 文（ツラツエ）文 十（ツヅ）和 辻（ツヂ）日

筆（ツヒテ）日 葉（ツフ）日 序（ツフラ）日 耳（ツヒ子イモ）多 茨（ツヒ子イモ）多 多（ツヒ子）和

冠（ツブラ）日 首（ツブリ）日 突（ツキシラフ）日 相（ツキノヨフ）日 駒（ツキノヨフ）日 旬（ツキノヨフ）日 舵（ツキノヨフ）日

項（ツキノヨフト）万 月（ツキノヨフト）万 斜（ツキノヨフト）万 亂（ツミ）日 罪（ツミナフ）日 謀（ツミナフ）日

欲（ツカフ）日 築（ツキ）日 万 疋（ツキ）日 所（ツキ）日 異（ツ）日

働ラ 牛日 幸日
知(ナイガシロ)敷蔑日 名員(ナニヨオハヽ)去(イサコト、ハン)茅(ヤ)元同(ヤ)
何(ナニユヘ)日 稔(ナリハヒ)農万 稔作日 稼穡日
空稔日 耕種業日 月中(ナカイトツカ)日 内(ナカウト)裏
日 仲人日 名風(ナツヘナク)仁 毳毛茅(ナツナ)多
鰌(ナヅム)鼈日 泥日 名(ナツク)号日 月日 名付日
穴幼(ナニメイタル)穴兆 媚娜日 高麻(ナヒヨミノ)金茅乃
早(カヒ)娶万 哭泣流涙(ナキイサナカナミム)日 涯(ナメシケ)乳日 石乳

乳日 安(ムヤス)乳日 列(ナミキ)城日
鍬(ムクワ)日 智(ムハタヒ)子 鳥玉日 鳥珠日 鳥
羽玉日 流(ムハ)日 落日 射(ムカフ)日 白尾(ムカツヲ)
白笠(ムツキツイタヲ)日 白雪(ムカワリ)日 賀(ムヨリノイミ)欠日
正(ムヲ)且日 梯梁(ムヲチキミ)居日 貪(ムクツケシ)白 園(ムニワヒ)
和(ムニ)廝日 弓(ムユミ)矧日 勇(ムニミ)肝 熟(ムニコホリ)日 中(ムナカヒ)日
猪(ムイクヰ)日 味(ウニコホリ)凍万 孫(ムコヲヒ)男和 二(ムヨ)日
の恰日

平伏 ムケミタカフ 日
[illegible] ムニヤ〳〵ト二ナヲル 万
[illegible] ウハ ヘナキ
[illegible] 八 [illegible]
[illegible] ウトム
肩 日 [illegible] ウチクム 日
[illegible] ウチスカヒ
自服 ウベナヒス 日
[illegible] 日
[illegible] ウチクラス 日
[illegible] 日
[illegible] ウラカシ
華 日 [illegible] 日
[illegible] 日
[illegible] 日
[illegible] 日
[illegible] ウルハシミ 伊
[illegible] ウカラフ
[illegible] 日
[illegible] 日
[illegible] ウヒテ
[illegible] 日
[illegible] ウヌ一ヒ
[illegible] ウツタカレ
[illegible] 日
[illegible] 日
[illegible] 日

肯 下 ウケコフ
[illegible] 日 ウフスナ
海男 万 ウミキハ ノスフ
護 イナカワラフヒ
鄙治 和
人定 日 井ノトキ
莽夏 日 イチノワサ
埜 ノニ
[illegible] ウケタマハル
[illegible] ウフヤマナヒ 尤
海藻 日
[illegible] 日
井ナカヒト
田舍兒 和
井テノヤニフキ
弁手[illegible] 虎髭 和
所記 日 ノタマフ
告 日 曰 日
[illegible] ウミヲノタマフ
聖海藻 多 ウミホ
郭 ウミロ
[illegible] 日
[illegible] 日
[illegible] 日

オホトノコモル日 殿内
オホトキ 時
オホカハノベ 大川辺
オホソラ 虚空
オホツカナシ 心臆
オホエ 大兄
オホミヤニヒ 宮新
オホシメシ 思食
オホヨソノイタリ 大概
オホカナヘ 大鼎
オホヲソトリ 大祖
オホチ 大路
オホトナアフラ 大宿
オホト 大戸
オホトヒ 大人
オホキミ 大王
オホトシ 大年
オホセ 大せ
オホヒ 大日
オホヒ 大火
オホヒ 大氷
オホヒ 大日
オホヒ 大比
オホヒ 大日
オホヒ 大日
オホヒ 大日

オンダラレ
刑 日
オンサカヘ
生長 日
オヽシタツル
雄壯 日
オヽシキ
奥 日
オクニリ
孝性 日
オヤニシタカフ
大孝 日
オヤウルヘ
孝狠 日
オヤノカフ
母中家蚕眉 万
コノミユコモリ
家之琴瑟 万
オニシ
延 日
安 日
史
席 日
ツカ
尼 日
オサ
長 日
ヲコセヨ
源遣 伊
オサくシ
長 日
オサ
治 日
優 日
オサノイミキ
樹制 万
オサメ
治 日
通 日
軌制 日
オキ
蘭濁 万
オキツナミ
奥波 日
オサメ
安 日
オキ
真 万
オキツナミ
奥波 日
玉
沖 日

オサナコ
大名児 八
オキナカハ
奥中川 日
オキツカセ
鳥風 神
オキ
長川 日
オキモセス
寝子 日
沖中川 日
オキモセス
寝子 日
オキツキ
奥擣 万
オキナ
翁 日
長老 日
老公 日
オヒヌレハ
所老衣 伊
オヒサキ
生長 日
オシム
資乳 日
オキナサヒ
翁開 日
オミロイ
多彩 多
オモノサヤ
安播 日
オモホテリ
赫耀 日
オモテヲヽカシカタチ
生長 日
小大 日
原
オモテ
将面方 日

[illegible]（オモヒヤル）遣 同万
[illegible]（オモハク）為 後容（オモフル）日 所念（オモホユル）万
[illegible]（オモホヘズ）所念万 非常日
面日 吠日 侵日 可怡（オモミロ）日 怡阿万
飯（オモヒノ）粮日 御寨（オモヒ）日 飯湯（オモフ）日 物湯日
[illegible]（オモモル）為[illegible]当 萬（オモミ）日 侍者（オモヒビト）白 侍殿日
[illegible]（クスミクエラフ）物簡日 宗[illegible]（クニイ）日 社稷日 風俗（クニワカ）日
俗日 口遂（クチスヰヒ）口号日 [illegible]（クチキ）万 名[illegible]日

[illegible]（クルニツリヒ）[illegible]清 苦（クルシム）万日 困窮日 [illegible]苦日
窮（クツラル）[illegible]日 顔日 顔[illegible]日 [illegible]（クツヰミヨノ）[illegible]
[illegible]（クラヰニスヘタテフル）[illegible]元[illegible] 祝鞘（クラヲオロス） 食（クラフ）日 喫日
飯日 綾日 [illegible]日 噬日 切付（クウワキテ）[illegible] 杭（クヰ）
杙日 機日 [illegible]日 [illegible]（クヰナ）[illegible]多 [illegible]
日 嘯（クヽメテ）而 天[illegible]（クヾヒ） 環回万 [illegible]（クヰカリワラハ）日
[illegible]（クヰノモチヰ） 茅[illegible]日 久[illegible]（クメナノハシ）[illegible] 寒疑（クヒヒク）
眷属（ケンソク） 支[illegible]日 [illegible]（クイモノ）[illegible] 喰和日 [illegible]（クヒ元）

噬絡（クイミハル）　苦菜滅（クスメチ）

灸（ヤイトウ）　火囲（ヤイハタノ）多　炙畑（ヤキハタ）日

和（ヤハラクルヒカリフチリニミヘ）日　軟（ヤハラ）日　柔（ヤハラ）日　揉（ヤハラ）日　穆（ヤハラ）日　鍬（ヤハ）日

飢（ヤヘサクラ）日　和麗同麗　八重二十重（ヤヘハタヘ）

八蕩搖（ヤヘムクラ）万　八蕩蓬（ヤヘムクラ）万　八面目紛淚（ヤヘカユクハニ）

八百立（ヤヘヲ）日　八十握懸（ヤカチカケ）万　一二月（ヤヨヒ）

八岩（ヤツオノツハキ）万　八岩樹（ヤツオノキハス）万　八岩縒（ヤツオノ）万　八岩（ヤツオノ）

矢益（ヤナミツロヲ）沼　柳宮（ヤイハコ）　逸（ヤラ）　擴（ヤラ）日　追（ヤラ）日

彩向（ヤウコウ）　微（ヤウ）　稍（ヤウ）日　漸（ヤウ）日

八丘（ヤオ）　八岩（ヤク井シ）日　八尾（ヤオ）日　八方（ヤオモ）日　八面（ヤオモ）日

施茅（ヤク井シ）傷　山陵（ヤニノカヒ）　峯（ヤニノイタキ）　嶺（ヤニノイタキ）

山面（ヤニツチ）日　山蛭（ヤニメオリ）万　山葛（ヤニカツラ）　暁（ヤニ）日　山祇（ヤニツミ）

山溢（ヤニアフヒ）　山蓋振（ヤニアヰスレル）　山鳥尾（ヤニトリノオ）　山鳥尾（ヤニトリノハツオ）

山鶏尾（ヤニトリノシタリオ）　山多豆（ヤニタツ）万　賀（ヤ）

衆（ワラヒ）多　廣陸（ヤニコホウ）

疾（ヤマヒ）日　所患（ヤマヒ）日　病（ヤマヒ）日　疫（ヤマヒ）日

薮（ヤフシワカヌ）ふ　山（ヤマナフ）

鞠孩（ヤミナフイクサ）日　嬰子（ヤミナヒコ）日　孫（ヤミハコ）日
八磑（ヤミホリノサケ）日　八日八夜（ヤヒヤヨ）日
貨賂（ニイナヒ）日　賄（ニイ）日　賣儈（ニイトス）　壱従弟（ニホニモヒトニ）　壱孔人（ニカケ）
郭糸（ニイハル）日　圍（ニハリ）　迴（ニ）日　回（ニ）日
相保（ニホル）ニララ日　捍（ニ）日　壱傍（ニ）日　祓（ニカケ）
韎韐（ニヘタリ）　韐（ニヘウミコ）　壱従（ニトコオホフ）日　壱床迫（ニトコム）日　督疫
目驚（ニトフ）日　冏（ニトヰ）日　壱（ニ）日　的（ニ）日　蕘（ニ）日
疏（ニトフ）　紛（ニカフ）　濆（ニ）日　乱（ニ）日　全人（ニ）日

逐人（ニタカヒ）日　匆復還（ニタカヒ）日　幸（ニミソ）日　三従兄弟（ニタイトコ）
餘泉（ニタラカヒ）多　文蛤（ニ）日　仇（ニツロ）　和仇（ニ）日　攻仇（ニ）日
諸服（ニ）日　不生仕（ニツロハス）　一向（ニツコウ）　壱向（ニ）日
壱邦（ニナイタ）板　俎（ニ）日　切板（ニ）日　故本紙（ニ）多
俎（ニナイタオホヘリ）既屠（ニ）日　俊（ニウケキミ）兄　上嗣（ニ）日　維城
明（ニ）日　公卿（ニウチキミ）　一千（ニ）日　羅僚（ニ）日　大臣（ニ）日
太史（ニウノホル）日　羅臣（ニ）日　壱人（ニウト）　客（ニ）日　臣（ニ）日
弟上（ニウノホル）　昇殿（ニ）日　昇遐（ニ）日　壱遐（ニ）日

[illegible]日　奉對　元隆　民類日
内附日　西流日　申遠日　詩　中日
啓日　曰日　癸日　渭日　星日　白云
請曰日　諮言日　猛　匂　旬　交物交日
非負解　原　鬱寿　伊　彷而丘日
桐板　榛殖日　蒔生日　麦　江見
斂文　伊　実男日　豆田日　大豆生日
覲日　視日　益清れ　高清れ日

[illegible]　狂　耐日　御元呪日　厭日
糸日　交日　交　雑日　狡日　擣日
同例日　間日　高白　荷　伶人
女　大丈日　益雄日　賤男日　男子日
男日　健男日　武士日　益荒丈日
這男　十寸穂　[illegible]
乳日　形勢日　弟乳日　様　気峯日
結月　伺　諭日　掲月日　原　気近

ケヌカウヘ
[illegible]
ケウレ 原

ケウサウレ
孝 原

ケウキ
[illegible] 原

ケ サ
今日 副

アス ケ
明日 副

ケ
毛布 日

ケキヤウシタミラ
毛氈 日

ケモイヨタチヌ
毛唐皮 日

アトキスハヘ
岩枝 日

ケヲサル
[illegible]

ケウナリ
[illegible]

ケウナリ
[illegible]

ケウトキ
[illegible] 原

ケ
[illegible]

ケタクフヒ
[illegible] 原

ケウナリ
[illegible]

ケウナリ
[illegible]

ケ フノホツヌノ
狭布細布

コノウツハモノ
[illegible] 家

ケシウ
下習 日

ケ
[illegible] 日

フチ
黄環 多

ケ
[illegible] 日

フチ
[illegible] 日

フリ
振延 日

フリ
振[illegible] 日

フリウケタ
振授 日

フリウケタ
授[illegible] 万

フリ
振多[illegible] 日

フルイ
[illegible] 日

フリタウ
[illegible] 原

フルイオキナ
[illegible] 日

フルイヲノツ
戦慄 日

フルイ
威儀 日

進止 日

フタアヒブユウチキ
拳[illegible] 日

ヲ
[illegible] 日

フナソコノイシハイ
舟[illegible] 日

フナ
舟[illegible] 万

フナ
船[illegible]

フナ
船[illegible] 石灰 多

フミ
[illegible] 日

フミ
[illegible] 日

フミ
[illegible] 日

フミ
[illegible] 士

フミ
[illegible] 日

フミ
[illegible] 日

フミ
[illegible] 日

不流（フナノヤハ）　不二（ヤ）　山　伏水（フシミ）　丞倍子水　日
念將刑（コロサントオモフ）　日　聲言（ハシクリ）　拒捍（コバミスマフ）　撲　日
邪縣（コホリ）　日　不寄（コホリナタクロウ）　多　蜱（コボキ）　下　蜷刎　日
言愛（コトホミキ）　諺（コトナサ）　子業　日　云言文　日
子流（コトノユヘ）　子流　日　綿故　日　言為（コトナニ）　日　犯（コトハリ）　彰　日
刎　日　要　日　義　日　編（コトハル）　紐迂（コトハタミテ）　孝
比年（コトイ）　万　特牛　日　打撲（コトリツカヒ）　攻　小丸麦
日　打撲麦　日　水老（コヲトナ）　万　手多特（コヲヨヒ）　糸

高三郎編

戎（コヨナフ）　に　事外　日　山夏（コタヒ）
又粗扛（コヨウハミ）　答（コタヘ）　對　日　急　日　刎　日
刎　日　和　日　報　日　慄（コラハテ）　金劉子（コンカウシノ）
会陳（コスル）　に　浸漬（コウラウテン）　敏　国手（コウシタリ）　に
末居（コヨ）　長（コノカミノヨト）　幼　日　兄弟　日　兄（コノカウヘ）　兄（コノ）
手拘（テカミハ）　面（コノユヘ）　中茎　日　式方　日　曲水（コクスイ）
高羅（コクラ）　百濟（クメラ）　狗逸（コミカハリ）　弓及　日　に　狗（コミイヌ）
巨（コ）　巨（コ）　爲（シウ）　に　巨（コ）　巨（コ）　爲（ラ）　寄（コハテ）　涙　日

流 日　仏線 同　之見 同　煖熱
訛泳 仝　仏芸の　失うこと 和　失志 日
恒欲復 日　肥滷　膏腴 日　絨
郁 日　諭 日　未云 万　子文
水豆湾 日　濃き糊 仝
榜 舟 万　小余殘滓　失巷
捉 万　獪 日　瘧 日　傴 日
貌芳 和　絨絲　塞 日　胡弦 日

通詠德之音 日　近湾 府　殺 仝
亦山孔子 仝　反側 万　展 日
乞彩　庶幾　希 日　慕 日　冀 日
蕊物四十枝 仝　巨勢 仝
敢 不　敢不固辭　緣 命帝 之
冯 月 冯　技績　冯 不 之
敢 日　桟 日　蘆 日　蘿 日
得不獲備 和　伊　嗣　湾 日

荏池 荏脂 日 核 井 江声
敢也波 伊吹羌蒿 怨咒咀 日
閃刀紙
絡石 多 止云者 万 者 拷形 万
又手 搖手 日 更 多更 日
配合 日 壻 日 壽 日 配 日 翁 日
勃 日 周章 擾乱 日 阻 日
衰 出 日 情 日 万 怖怜 日 心出 日

懼 怒 日 矜 日 怜 日 大海 万
澪深 日 蒼海 日 嗚 日 嗚呼 日
衰思立 万 欲出乎 万 味村豫 万
云為 史 云為 日 云為 日 云狀 日
味 鄉 日 教 日 味澤相 万
味 羅 万 味酒 万 多米乙
蒼柴 日 蒼生 日 赤舟 赤荒
小舡 日 万 赤荒舟 日 阿伽去 原

逆賊（アタナフ）日　伺堂（アナタフト）日　養誠（アナニヤ）日　妍（ケン）日
面（アラフルイモ）乃　穴（アナ）乃　穴徒（アナウメ）目　古
荒振媒（アラニコノハラヘ）乃　暴神（アラフルカミ）日　荒振神日
荒和祓（アノオト）乃　廉妙（アラタヘ）　荒機乃　暴悪（アラワナ）日
足音乃　跼（アクミヰル）日　覓坐居日　綾（アヤメモ）目
不分（ワカヌ）　黒白不別日　文目不分日　善
悪ふ分日　吳（アヤム）　神徳（アヤミキイキホヒ）　和（アミナフ）
耳日　倭解（アミナハシム）日　大相亡（アフキモラ）乃　涸（アコ）

高天原広野姫

涸（ナフ）　亡蓋（アエナキ）　亡敵日　朝（サナユラナ）魚多菜乃
喚（アサワラフ）笑　冏日　笑（ホフル）咲日　吹（ヒ）日
似（アユル）　アエカル　西（アメソ）　保（ホ）零々　伊　面（アヒミス）微涙日
多（ミノハカヒ）打蓋乃　凶（アエキラヒ）棄日　勢（アヒミ）面乃
ふ（アヒミス）都而乃　亟（アヒキトモイハヒ）共非云　囘（アヒタクム）伸巧日
子（アヒタ、カフ）凌戦日
苔（サイタツ）前日　先（サイタ）立日　祝（サイイ）日　祢日　祐日
福（サイクサ）子日　三（サイタ、ミツリ）技条　罪（サイナム）　詈乃　咤日

高天原広野姫

近江 日　去沈 日　清〻爰 日
震動 日　敬 日　隆 日　訕唵 日
又月蠅　蠅聲 日　綽 日　正 日
多有 万　左丹頬合 万　狭丹頬相 日 万
敬頬相 日　副 ノ字ニシテ　里郡 ネ
依青 万　小吾自 保　小吾 保
五月乙女　幼姉 日 万　牡鹿 万　早鹿 日
昌盛 日　壇場 日　男 日　埃 日

菁蒭葛 万　五味蔓 日 本　髑 日
吟 ニヨフ　吉夫　伶俐 日 文　愛 日
年 日　作 日　左依宮夜壮士 万
依敬宮衣牡子 日 万　硬 ニイシ　細石 ネ 日
礫 日　砂礫 日 万　敬云 ヲキ 万　鵯 日　呵 日
隠声 日　投 日　偸役 日　涙閉 日
流経 日　考流沉 日
納 万　沉 日　係 日　力 日　拯 日

糸戒（キヨミハリ）日　伎（キ）曽（ソ）毋（モ）許（コ）金比（ヨヒモ）毛（モ）万
知関（キコエシム）日　后（キサイノミヤ）文　落文日　掩庭日
縁（キサム）日　刻日　旅（キヒ）日
乾（ユイテミヨ）日　故（ユヘ）　忠日　中（ユカハアミ）日　正日
沐浴（ユカハアミ）日　玄（ユクヘ）方（ユクヘ）万　紅（ユカハ）万　後日
映（ユラクヘ）関万　夕映日　春（ユフツクヨ）三伏一向（ユフツクヨ）万
夕附（ユアヅク）日　夕月（ユアヅク）日　夕（ユフツヽ）万
湯（ユアヅク）波日　玄更（ユキカハル）万　紅（ユカハ）万　紅（ユカハ）日

陰（メヲ）陽日　発（メヲイカラ）日　感（メヲ）日　愛日
懐（メノフトコロ）　孫日　希（メグム）日　恩（メグム）日
仁（メグミ）寛日　柔（メグミ）仁日　恵日　恤日　恵日
巡（メクリミツナハス）狩日　合（メクハセ）眼（メ）　瞳（メヒトミ）　瞳日
眄日　妻（メアハス）日　婚日　配（メアハス）合日　配日
喚（メシイル）入日　召（メシイル）納日　召（メシツトフ）合万　召集日
王（ミイクサ）師日　皇（ミイクサ）師日　御軍日　徳（ミイキホヒ）日
御威日　哀（ミハウフリ）葬日　合（ミトノミクハヘ）文（ミトノミクハヘ）

ミトノニクハヘ
夫婦遘合 日　共為夫婦 日　欲共為和 日

ミヤシロタ
神田小田 日　進食 日　且為欲食 日

ミワ
三輪 万　神 万　神小菅 万　三輪小菅

ミワラ
三狭 万　見弓 万　ミカホ
見弓 日　顔 日　ミツハ
顔象 日

ミツノミナハ
多水沸　ミツホノクニ
多穂地　ミツイレ
多斐 日　ミツアミテ
多洗 日

ミオモヒ
緑闇 日　ミツナカシハ
小綱柏 日　三角 万　三綱延 日

ミヤケ
屯倉　官 万　官 日　ミヤツカヘ
出弓 日　官 日　ミツカ
官 日

ミサカ
笑賀 永　ミセシム
令見 日　ミ
眼 日　ミ
原察 日　ミ
白拷 日　ミハス
秀 日

シロタヘ
白妙 日　シロタヘ
白細 日　シロタヘ
白栲 日　ミ
海水 日

ミホ
師走 日　ミホ
堀 日　ミホ
鹽 日　ミホ
澈 日

ミホハイリヌイソ
堀波入磯　ミホ
海獺 日　ミホ
海獺 日　ミホ
澈潤

シリヘテミシハル
面形　シリクメナハ
端出之縄　シタヒ
左縄端出 日

シタヒ
沿連 日　永　シタヒ
循 日　ミツノオ
男子 万　ミツカ
怯 日　ミツム
密 日　ミツム
安密 日

ミナサタメカリタニフ
不定之冠賜 考選 日 烏帽子 日
シナヘニアラシイモ
四稜將至蘇 乃 志葉脇 乃 圓呂 日
シノメタケ
強 日 乃 乃昌竹 乐 百葉竹 日 多
シノニラレナミ
之螺押靡 乃 布結 日 標結 日 乃 卜
結 日
エグ
恵具 乃 女萎 日 日
ヒイテイル
延内之 日 一道 乃 一丈 日 日 將 日
ヒトスイト ヒトツエ ヒトヒ
朔 日 人気 日 口布 乃 西南 日
ヒトケハヒ ヒリム ヒッシサル

ヒナミ
日双 乃 補 日 ヒシリ 独 日 ヒシリ 素人 日
大人 日 ヒモ 節 日 ヒモカタナ 已首 日
モトトモノヲ
結紐 日 モトラリ 迴 乃 モチツキ 二五月 乃 十五月 日
モノヒモヲヽシタレ
抑裳帯 日 モトリノツクエ 石机 日
スハヘ
楚 乃 気像 日 搭 日 標 日 秒 日
スナホ
朴素 日 質 日 スミエ 清江 乃 紙吉 日

追加

一 假名づかひやうの世に知らぬ人もれく
なるべし今はやう物ヲオホエヱ
ヘイ井ヒなどいふもてんあるさ
また書くやうと思ふる物なれおや作
うんかのうの世にいるべく候
の去字を假王あつらく我教の河

とつくわるみひいのかへさのみりきまへ
云つる事はを有ちうんを井つはいよ
く源氏の道ふくにもむ乃ちさうん
なりとそ行しとも翰書に惡ニ
ま〻くかを書〻かゝ社神書乃
ひしとも有るハ設ちにしくとも
しへ惡しも又ちうせつる人と
きく代〻の事ひを数多度なりられと

中華の源なる河かをさとる人と雷夷
はをやしに鄙に居しとる程ハそとを去
きとみく終と中国のるに先ふるすにな
とくくしくとをや父母のつくふりへ
をなつるかとつし来くよれちとも
さやも源氏物語ミラる人の身かハ母
ゑ西東と見えをもありとるわさ程ハ京兆
に夷狄の書かはく遠或と兆民乃

声と仮名のありかたをもて
きうるゆいひ綱にあれたるものつ
てう有実のやうにたりうく家もちて他
を又字をとあらくく所目をへめて
ありかやうにんのはいとのみつのと
かふようて能ゑと段先つるかあるの
に民者せにちうひそ仮よりくくと
のくりとうくと言しかひとく

いろはの書やう

いたへうとあり
出る也

ろ 墨うろふ有
くく也

は 乃とりあくせ

に
別くく
出る也

ほ うらを
ふくく
出る

へ 乃筆あくりの口伝もうる也

と うらく
と出る

ち うらと
ちくく出

り わくくま
もうる也

ぬ 日上
もうる也

る
ともうらく
ともうる

を うらく
をうる

わ 日上
わくく

か 日上
かくく

よ 日情
よくく

た
ともうらく
たくく

れ 乃ひと
れくく

そ 乃
そくく

つ 乃ひと
つくく

ね 乃
ねくく

な うらく
なくく

ら うらく
らくく

む 乃
むくく

う 日上
うくく

ゐ 日上
ゐくく

の うらく
のくく

お うらく
おくく

く うらく
くくく

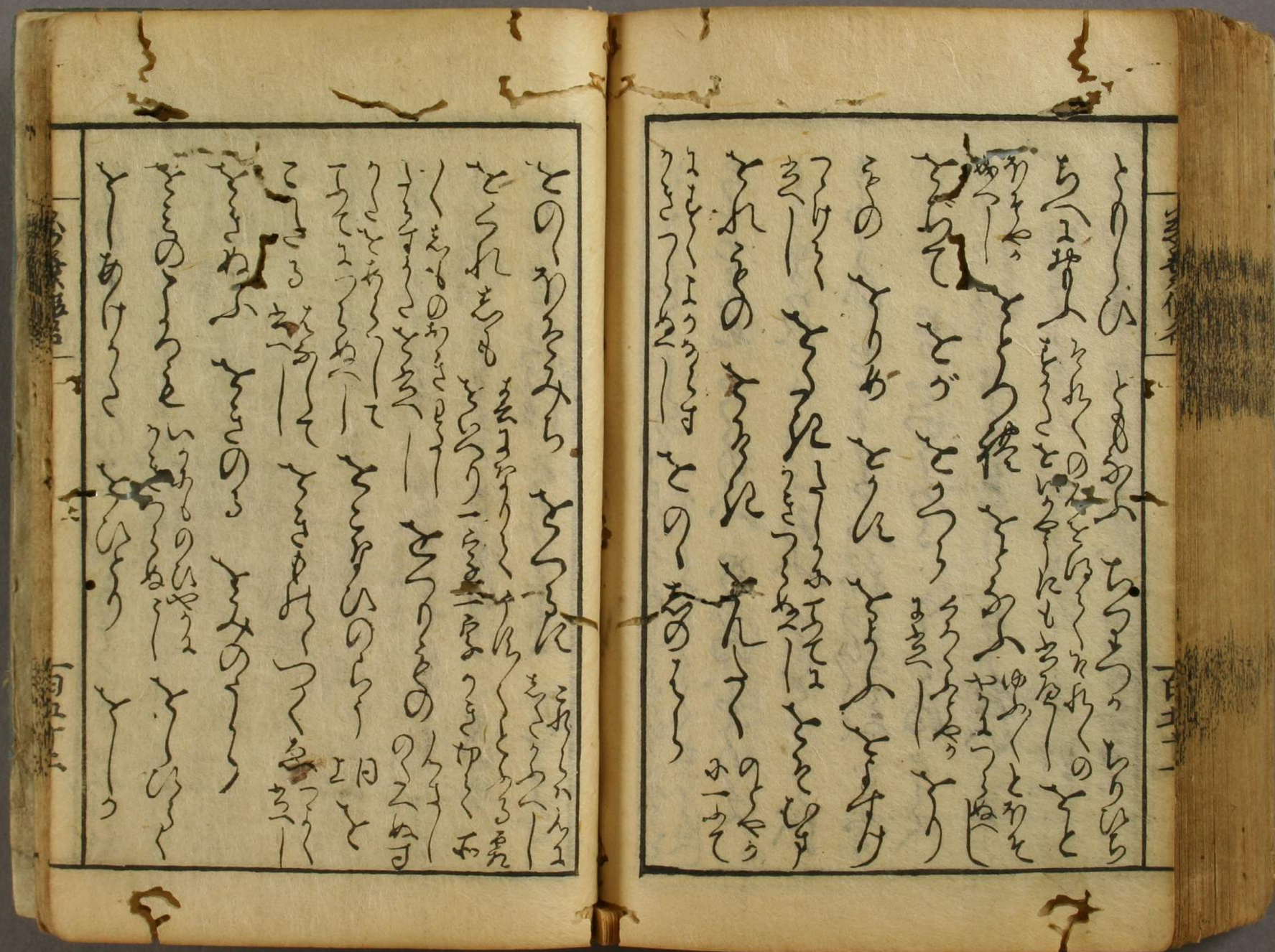
や うらく
やくく

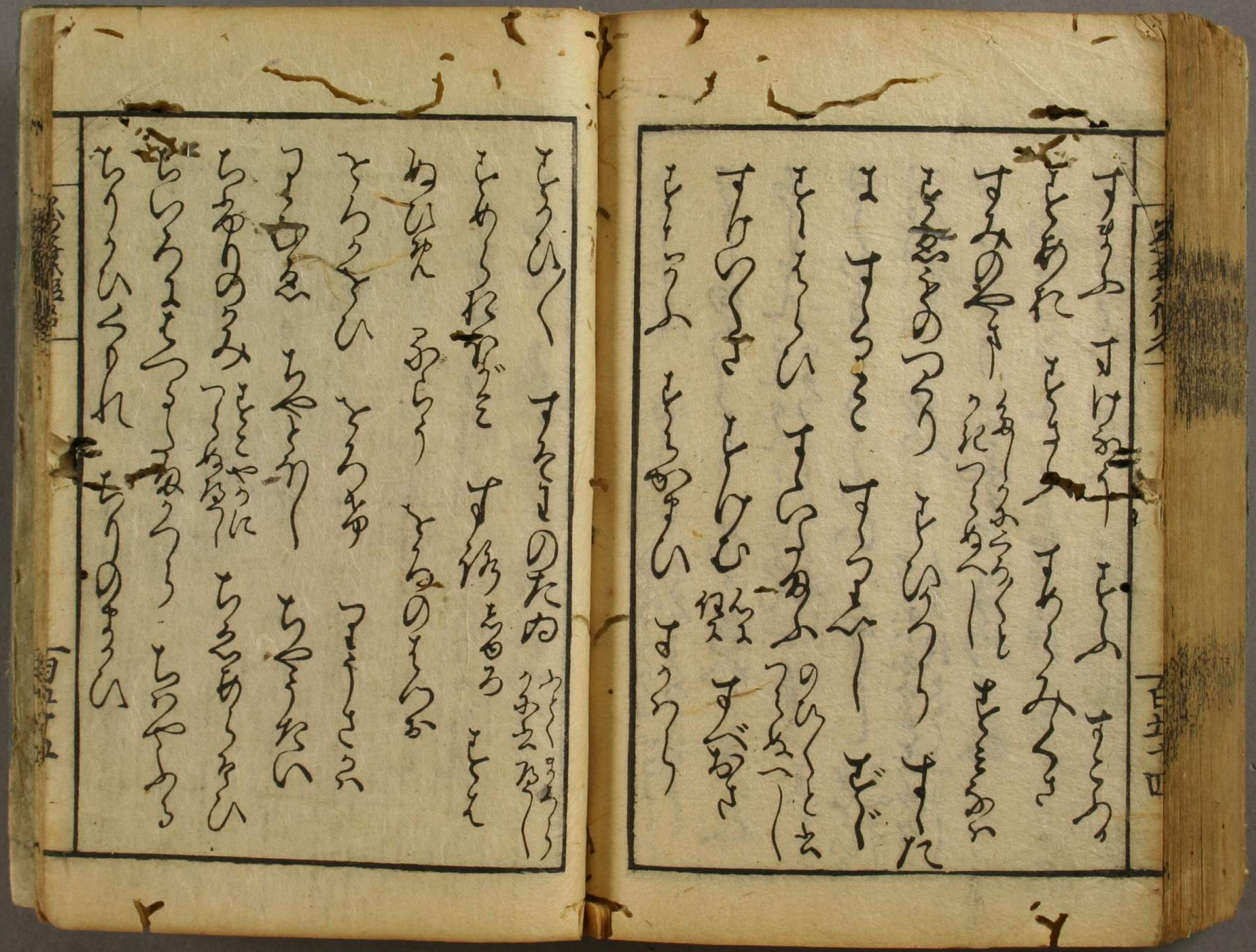
まつ[illegible]けふ[illegible]こ[illegible]日れ[illegible]
てあ[illegible]さ[illegible]き[illegible]
ゆ[illegible]め[illegible]み[illegible]
ゐ[illegible]ひ[illegible]せ[illegible]す日

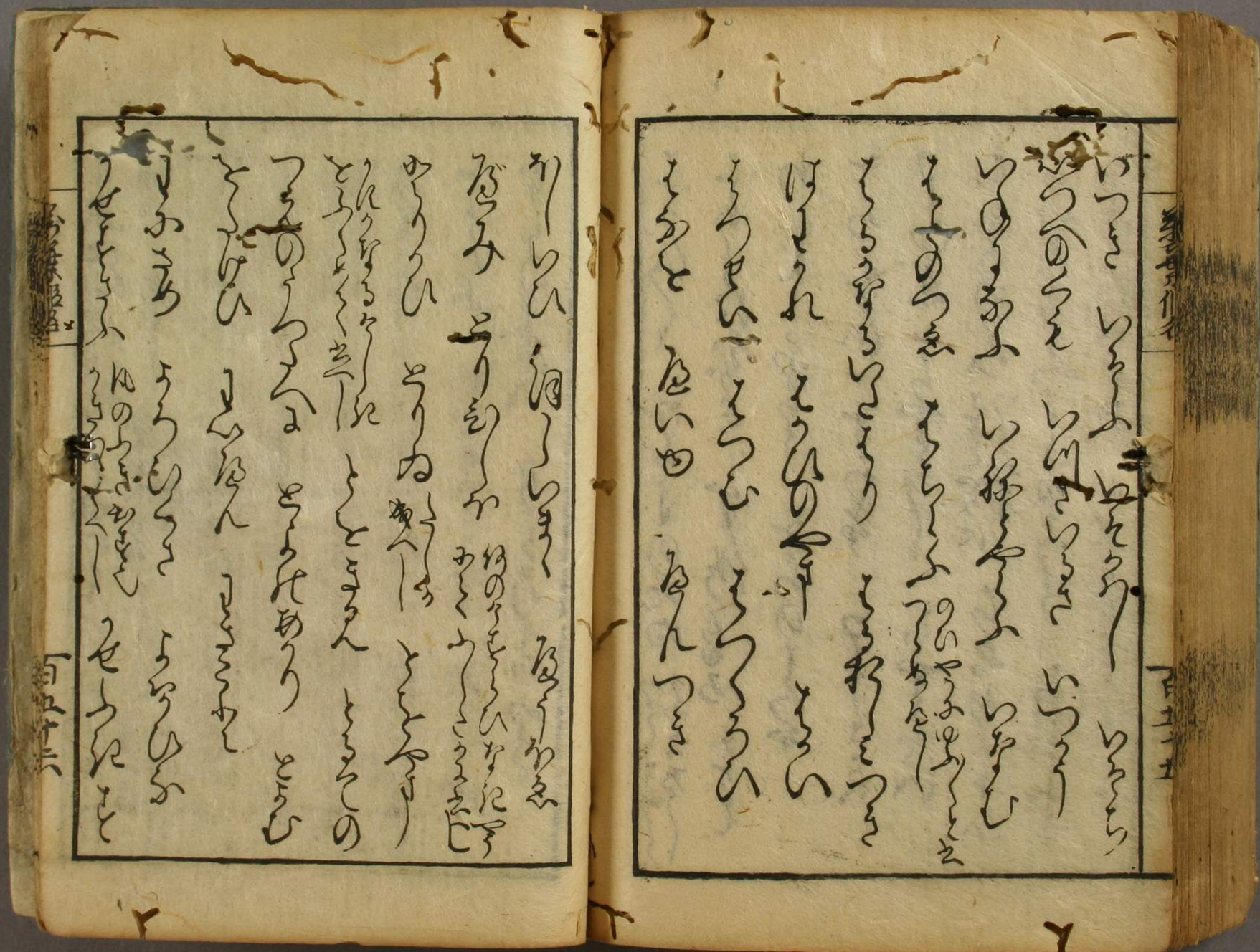
物ふ[illegible]書[illegible]帳名

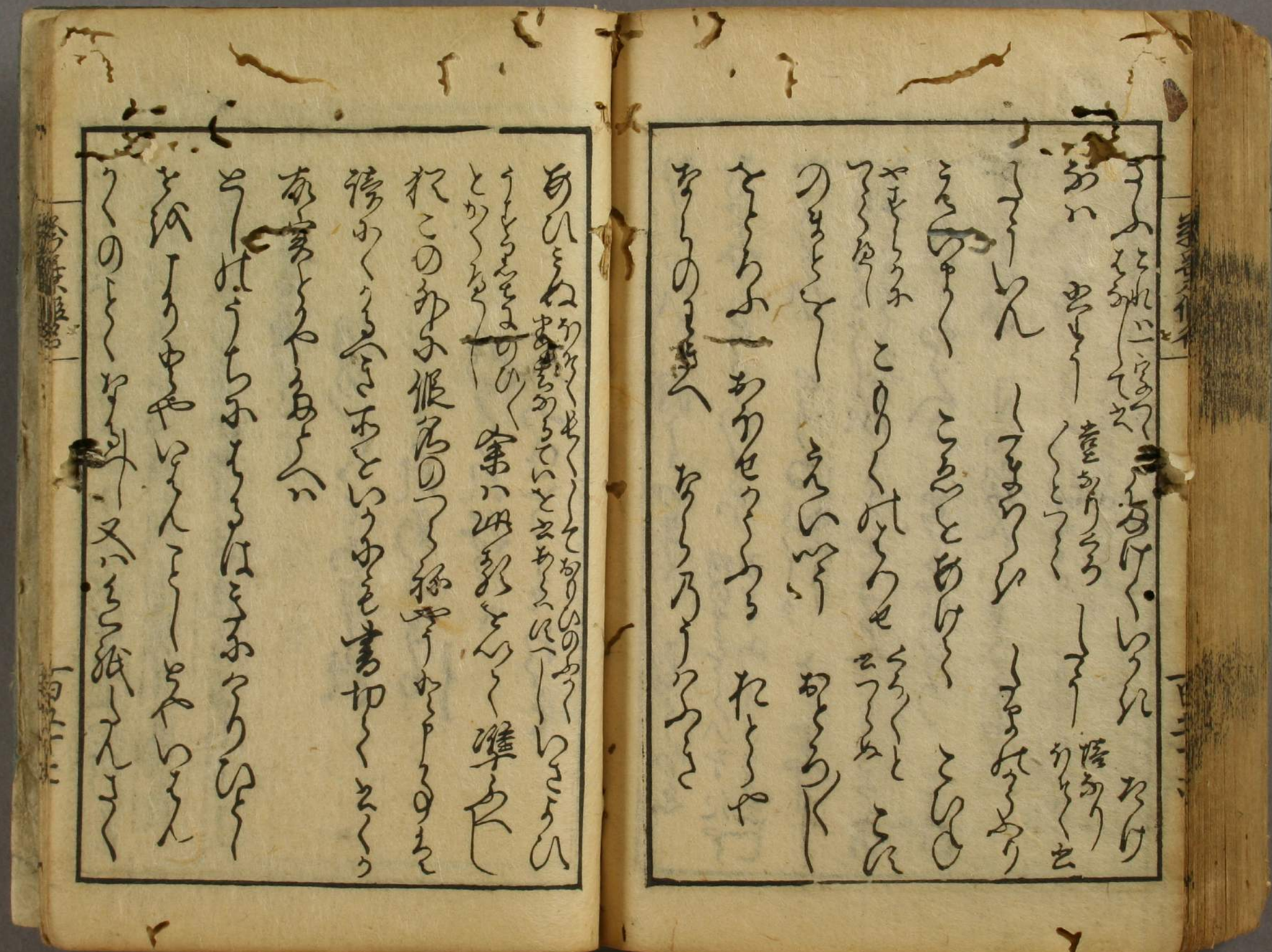
をこれ[illegible]見ハ一字つ[illegible]
[illegible]
[illegible]日たまのと[illegible]

をさ[illegible]これも一ツ家
[illegible]
[illegible]
これハ二字つ[illegible]
[illegible]
[illegible]









[illegible]と数多[illegible]
立[illegible]
当冠[illegible]
く書角

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
之とは[illegible]準繩とすべき大納言
[illegible]家乃[illegible]業[illegible]
文[illegible]
八[illegible]の文[illegible]
[illegible]
[illegible]

やうらに来るあり
うて
うゑ
のこ
世
てく
名
その
とい

のんあり
もとい
をそ
そう
ニア
家と
いつ

テフハ止ル又ハ
とうとゝ初ルゝ
とキ エキユ 用の字とモチヒモチフウ使
の字とツカヘツカヒツカフわとさゝ先
まりしちヒフへの毋イキウクの毋
なとハつを毋ハ
わるりつへ付る
假名ハ平の法乃ゝさのみ作ル

[illegible]
ゝ初ルの人名ハ
ゝかのまひさを作ル
ハ假名ハ
乃又ハ初ひとゝ
ひふゝ ホの字
又ハ月乃ゝより弁
の字ハ弁一ハ
二つの字のあり

さて反切の法とは反切の字は仁の字は始ふ仁の字は父字とし阿の字は孫とし阿の字は母字とし天地は父素の字とし天地の字は母字といふなり父字のあり方は通ずる父母あひ合の子孫と

あひの和合より母字父字母字おなじ字なり

字なり 素字家ゆえ

字なり

字の字には反切なり仁の字は父字乃仁の字

とは又書めれ并二ふあり母字の阿ノ

字は分一の始よりあり是を反切乃法

かなり母字とは父字の字の

ひらがなあり是ら此字毎りと

接へ又書めにあるる字伝又是は別

字の字にやうてとれとり字とし

て也とは是又止仏反てみと云阿

と四ハ天の字に及るすべてん
ちゃくしゃくしゃくトの字ハ
止の字ハくくくくのトノ字ハ止ノ字徒土ふ字の口ト弁
ハ中ほめの下乃字ハ中にありさく以
の字ハ第一の行乃字二ありつ字
にえあり丑をらくしくえ出さくを
後彼及切此例をふくるにツの字
のあとてツエフとる及ツエの

及かてこひ及切とる減天とるくく
ちれとテフといるすい元某トイフ
と唱てる沸毋字の特るフの字
をちのまいに文くやうてテフとよ
ふる初ふ及しくる也の字もこの
程ふくニアリのリの字をくくく
えとをかるる他以テフをもの
中くひい及切よつくくふさくく乃

んなをかしもあらじ先さき
あらくめかこてひ反切とをと二
注くしとをとを行くりくい留を
つくる初

ア	イヤ	カ	キヤ	サ	シヤ	タ	チヤ
	ウヤ		クヤ		スヤ		ツヤ
イ	イ井	キ	キ井	シ	シ井	チ	チ井
	ウイ		クイ		スイ		ツイ
ウ	イユ	ク	キユ	ス	シユ	ツ	チユ
	ウユ		クユ		スユ		ツユ
エ	イエ	ケ	キエ	セ	シエ	テ	チエ
	ウエ		クエ		スエ		ツエ
ヲ	イヨ	コ	キヨ	ソ	シヨ	ト	チヨ
	ウヨ		クヨ		スヨ		ツヨ

ナ	ニヤ	ハ	ヒヤ	マ	ミヤ	ヤ	井ヤ
	ヌヤ		フヤ		ムヤ		ユヤ
ニ	ニ井	ヒ	ヒ井	ミ	ミ井	井	井井
	ヌイ		フイ		ムイ		ユイ
ヌ	ニユ	フ	ヒユ	ム	ミユ	ユ	井ユ
	ヌユ		フユ		ムユ		ユユ
子	ニエ	ヘ	ヒエ	メ	ミエ	エ	井エ
	ヌエ		フエ		ムエ		ユエ
ノ	ニヨ	ホ	ヒヨ	モ	ミヨ	ヨ	井ヨ
	ヌヨ		フヨ		ムヨ		ユヨ

ラ	リヤ	ワ	イヤ
	ルヤ		ウヤ
リ	リ井	イ	イ井
	ルイ		ウイ
ル	リユ	ウ	イユ
	ルユ		ウユ
レ	リエ	エ	イエ
	ルエ		ウエ
ロ	リヨ	オ	イヨ
	ルヨ		ウヨ

ムラ乃畠ハ乃ちに。乃あいをんまたて
ニアのくしとんもしるちり△と計

るいの名なり是をあらはすを
をくさぐさ他樣年望未どいふす
あり父母の二つ二てあるよりく樣ふた
合はとれい父母のところへ文をくたと
へい乐の文ちふ此めさ是くは望未とい
父母の名をもに一字の内をとい
母ちをにくるしたくいたいの一字を
をくはくるくさ別アもイも共一

字よりあり是を文字は別母字より
はいくイとくるくこれを望未と云
余いかくくへて初面
さ稚くとかつくく般名の名称矣
あて名とて
ゆり 九月 てありとこ こくろり
くるあり 二月 ゆくくの家てありとこくろり
なあり こくろれとさくくに書なり
ゆくくのくくこくろれとくくり
とふくくのくくこくろのくくこくろ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ひゝ小みゝ羅小こをなきこえむ
人〻さかのそらをなきこえさ
きふるゝ〻ゝ

元禄十戊寅嘉月念五日

白猴園
鷺水

此時乃悪曇をつゝ吹吸名勤境
に照〻活光家持れ玄樂をとり
とり家僕宅家のゝ人ともさとり機根
なん畢竟ゝ〻〻〻と根乃因地ゝ〻〻
捷つゝ業ゝみを探つる根室鏡水
う〻笑〻〻〻〻〻

助叟跋

当元禄十一辰宿戊寅

五月念五

寺町二条上ル町　井筒屋庄兵衛

寺町五条上ル町　山岡市兵衛